

地域が見守り育む自主的な「まなび」

放課後まなび教室

実践事例集



平成29年3月

京都市教育委員会

京都はぐくみ憲章

～ 子どもを共に育む京都市民憲章 ～

わたくしたちのまち京都には、子どもを社会の宝として、愛し、慈しみ、将来を託してきた、人づくりの伝統があります。

そうした伝統を受け継ぎ、人と自然が調和し、命のつながりを大切にして、子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くことは、京都市民の使命です。

大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切にして、子どもを見守り、褒め、時には叱り、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを取り巻く状況を常に見つめ、命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で臨む必要があります。

わたくしたちは、子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆を結び、共に生きるうえでの行動規範として市民憲章を定めます。

わたくしたちは、

- ー 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- ー 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- ー 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- ー 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- ー 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- ー 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。



目次

はじめに

1	放課後まなび教室 10 年の歩み	1
2	放課後まなび教室の概要	2
3	放課後まなび教室 Q & A	5
(1)	子どもへの対応編	6
(2)	保護者・地域・学校・児童館との連携編	8
4	放課後まなび教室実践事例	11
(1)	教室入室から退室までの工夫	12
(2)	宿題終了後の子どもたちが楽しく活動する工夫	19
(3)	自学自習の習慣化を培う活動の工夫	23
(4)	長期休業期間中や長時間実施での活動の工夫	25
(5)	開（閉）講式，スタッフ会議の工夫	28
(6)	児童館，学童クラブ等との連携	30
	参考資料	35
①	平成 28 年度 学校別実施状況一覧（平成 29 年 1 月末現在）	36
②	京都市教育委員会作成教材の紹介	39
③	放課後まなび教室ニュース	41
④	学習サポーター募集チラシ	51
⑤	総合支援学校（小学部）在籍児童の参加についての御案内	53
⑥	平成 28 年 4 月 全市校園長会配布資料	55

はじめに ～「放課後まなび教室実践事例集（平成 29 年 3 月版）」発刊に当たって～

「地域の子どもは地域で育む」「まちづくりは人づくりから」という伝統が脈々と息づくまち京都。たくさんの地域の方々に見守られ、子どもたちは、日々すくすくと成長しています。

そのような中、実行委員会の皆様をはじめ、約 2,000 名のボランティアによるスタッフの皆様の御協力の下、全ての小学校で実施している「放課後まなび教室」は、平成 19 年に 50 校で取組を開始してから 10 年という年月が経過し、各教室の創意工夫溢れる取組により、子どもの自学自習の場、安心・安全な居場所として着実に定着してまいりました。

参加した子どもたちからは、「友達が増えてうれしい」「地域や大人のひとと話をすることが増えて楽しい」といった声が多く聞かれ、保護者からは、「子どもたちの人間関係の幅が広がった」「家庭ではできない遊びや体験ができ、参加させて良かった」という声がたくさん寄せられています。同時に、スタッフの方々からは、「毎回、子どもたちから元気をもらっている」「地域で子どもたちから挨拶されるようになった」などという声もお伺いし、この事業が、京都の良さである子どもたちの健やかな成長を地域全体で支え、共に高め合う取組として、ますます充実してきていることを実感しています。

一方、取組が定着してきたことの裏返しでもあります。年々登録児童、参加児童が増加し（平成 29 年 1 月末時点で、21.3%の登録率。）スタッフの確保と同時に教室の確保が困難になっている等の声もお伺いしております。これは、児童館等で実施されている学童クラブと同様、共働き家庭等の増加に伴い、子育て支援という視点から、放課後まなび教室に対する期待が非常に大きくなってきているとも言えます。本市としても、学校、実行委員会との連携の下、しっかりと情報共有を進め、各校の状況に応じた支援を丁寧に進めていく決意です。

さて、この度、放課後まなび教室を運営いただいている、あるいは今後新たに運営されることとなられる実行委員会・スタッフの方々に、少しでもお役に立てばという思いから、「放課後まなび教室実践事例集」（平成 29 年 3 月版）を発刊しました。平成 21 年度に発行した冊子のリニューアル版として編集しておりますので、各校の放課後まなび教室に常備していただき、更なる取組の充実のために活用いただければ幸いです。

最後に、本市では、子どもや青少年に関する施策を融合し、子育て支援施策を一元化すること等を目的に、本年 4 月に「子ども若者はぐくみ局」を設置します。放課後まなび教室の取組は、教育という分野にとどまらず、子育て支援、地域づくり、まちづくり等、幅広い分野に関連する事業であることから、学童クラブなどの放課後対策事業と共に同局が総合的に担い、関連事業の一層の連携を進め、放課後の子どもの居場所づくりの取組を更に推進します。引き続き、放課後まなび教室コーディネーターを配置し、取組を全面的に支援してまいりますので、放課後まなび教室への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

平成 29 年 3 月
京都市教育委員会

1 放課後まなび教室 10 年の歩み

(1) 背景

- ・ 子どもたちに関わる重大事件の続発等を踏まえ、国において、平成 16 年度から緊急対策として放課後の子どもたちの居場所を提供する事業が開始される。
- ・ その後、「新しい少子化対策について」（平成 18 年 6 月少子化社会対策会議）、「社会総がかりで教育再生を」（平成 19 年 1 月教育再生会議第一次報告）等において、少子化対策、地域の教育力の向上の観点から、放課後の子どもたちの居場所を提供する事業の重要性が再認識され、全国で取組を推進するため、国において、平成 19 年度に「放課後子どもプラン」が策定される。

放課後子どもプラン

全ての子どもを対象とした「放課後子供教室」（文科省所管）と、昼間留守家庭児童等を対象とした「放課後児童クラブ」（厚労省）を、全国的に実施・拡充し、共に連携した取組を推進することを通して、子どもたちの放課後の安心安全な場を確保するという計画。

- ・ このような社会状況の下、本市の「放課後まなび教室」は、全国に先駆け、国の「放課後子供教室」の京都市版としてスタート。

その後、平成 26 年度に国において「放課後子ども総合プラン」（放課後子どもプランに数値目標や年次計画を規定した新たな計画）が策定され、本市においては、「京都市未来こどもはぐくみプラン」（平成 27 年 1 月策定）の中に、その京都市版である「京都市放課後子ども総合プラン」を位置付け取組を進めている。（計画期間 27 年度～31 年度）

(2) 取組経過

年度	主な取組
19 年度	放課後まなび教室を 50 小学校区に開設（対象 4 ～ 6 年生）
20 年度	115 小学校区に拡大（新規 65 校）
21 年度	179 小学校区に拡大（新規 64 校）⇒ 全学年に対象を拡大し、全小学校区で実施
22 年度	放課後ほっと広場（33 ページ参照）の取組開始
23 年度	総合支援学校在籍児童も対象者として募集を開始 放課後まなび教室推進感謝状贈呈式の開催（19 年度開設校）
24 年度	学校敷地内・隣接児童館における放課後まなび教室登録児童の児童館直接利用（自由来館機能）の取組を開始 放課後まなび教室推進感謝状贈呈式の開催（20 年度開設校）
25 年度	放課後まなび教室推進感謝状贈呈式の開催（21 年度開設校）
28 年度	放課後まなび教室リーディング校（8 ページ最終段落参照）の指定

(3) 文部科学大臣表彰（「地域学校協働活動」推進）

年 度	被表彰教室
22 年度*	安井小学校放課後まなび教室
23 年度	西陣中央小学校放課後まなび教室
24 年度	神川小学校放課後まなび教室
25 年度	久世西小学校放課後まなび教室
26 年度	紫野小学校放課後まなび教室
27 年度	竹の里小学校放課後まなび教室
28 年度	嵯峨小学校放課後まなび教室

* 22 年度は文部科学省生涯学習局長表彰（文部科学大臣表彰は 23 年度から）

2 放課後まなび教室の概要

(1) 趣旨

放課後等に小学校の余裕教室等を活用し、地域やPTA、学生等の参画を得て、児童の自主的な学びの場としての学習機会を提供して学習の習慣付けや学力の定着・向上を図るとともに、子どもたちの安心・安全な活動拠点（居場所）を設けることにより、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として実施する。

(2) 事業概要

○**対象** 市立小学校在学児童（登録制）

・総合支援学校児童も参加可能（53ページ参照）

○**費用** 保険料のみ実費負担（年800円）

○**実施** 月～金のうち、**週3～5日**

・授業日 授業終了～午後6時まで
（長期休業期間は学校により異なる）

○**運営** 学校単位で**実行委員会**（自治連等の地域団体・PTA等で構成）を組織



内容

自主学習

・宿題、プリント（ドリル）学習、読書

創作・交流・体験活動

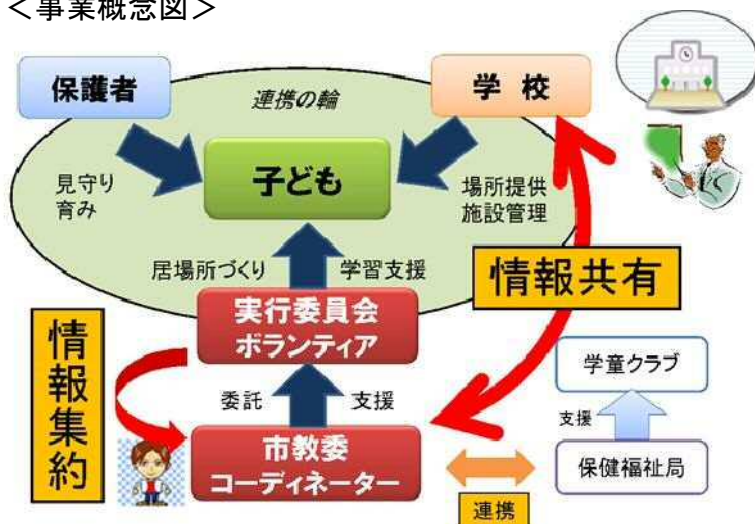
・手芸、工作、折り紙、百人一首、音読、カルタ、パズル、将棋、トランプ遊び等

季節的・定期的行事

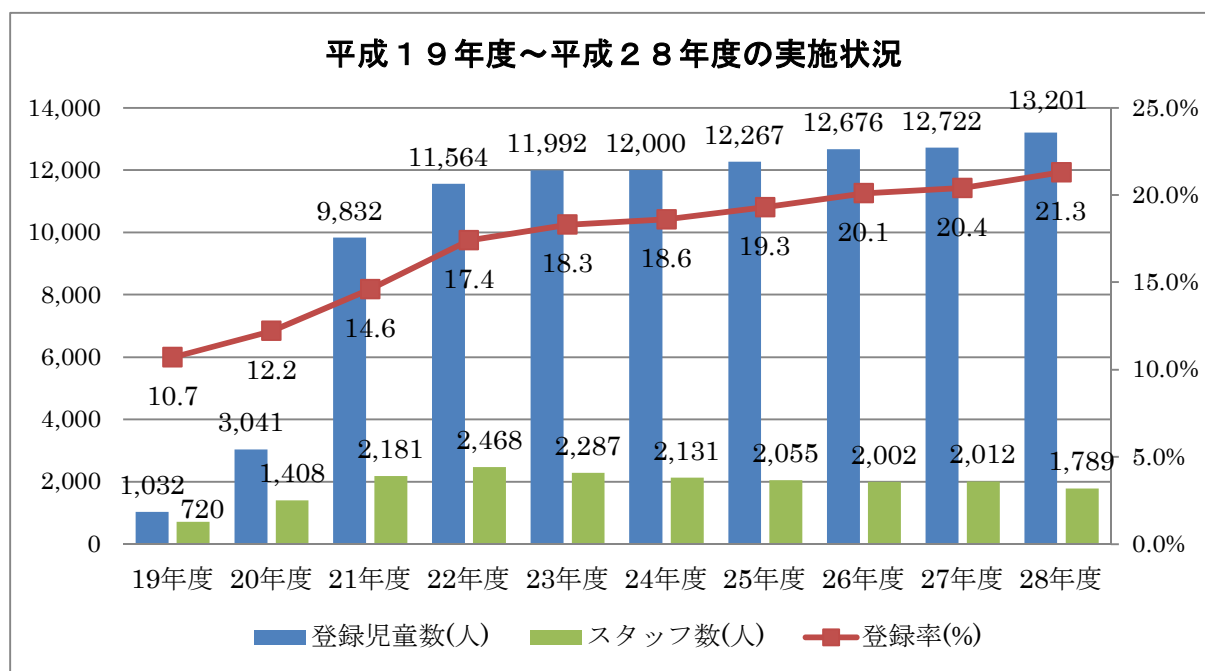
・紙飛行機大会、陶芸教室、押し花づくり
・クリスマスツリーづくり、年賀状づくり
・宝さがし、漢字検定、オセロ大会 等



<事業概念図>

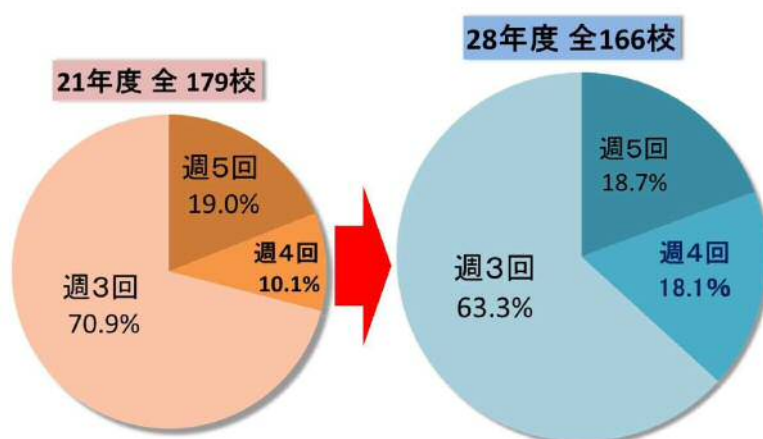


(3) 実施状況

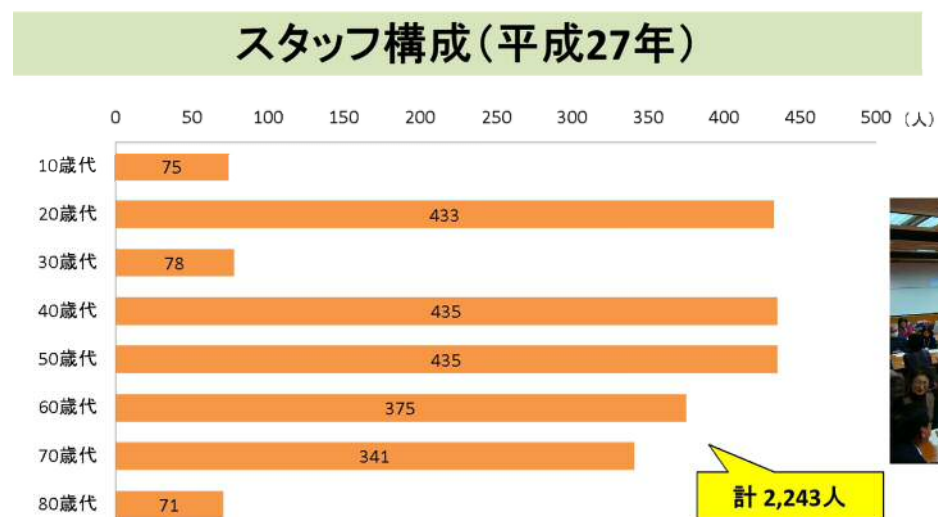


注 28年度の数値は、スタッフ数は10月末現在、その他は1月末現在。

(4) 実施回数の推移



(5) スタッフ構成



(6) スタッフ研修会

年度	概要
20 年度	支部別研修会・情報交換会
21 年度	全体研修会 「特別な支援が必要な子どもたちへの関わり方」 講師：京都光華女子大学教授 莊巖 舜哉 氏
22 年度	全体研修会 「子どもの自立とやる気を育てるために」 講師：京都文教大学教授・臨床心理士 井上 知子 氏 「障害のある子どもたちへの適切な関わり方・支援のあり方」 講師：京都市教育委員会 総合育成支援課副室長 中東 朋子 支部別研修会・情報交換会
23 年度	全体研修会 「人との良いつながりを作るストレスマネジメント教育の理論と実際～対人関係スキルの技法～」 講師：鹿児島大学大学院教授・臨床心理士 松木 繁 氏 「子どもと読書」 講師：京都市総合教育センター指導主事 橋本 真千子 支部別研修会・情報交換会
24 年度	全体研修会 「自ら学び 自ら拓く」 講師：京都市教育委員会 指導部長 柴原 弘志 「子どもの健やかな成長を願って」～教育相談の現場から見えてきたもの～ 講師：京都教育大学教育支援センター教授 桶谷 守 氏 テーマ別研修会（7 講座）
25 年度	全体研修会 「どの子どもも必ず伸びる」 講師：京都市教育委員会 教育企画監 荒瀬 克己 テーマ別研修会（7 講座）
26 年度	全体研修会 「発達障害のある児童生徒への具体的な関わり方」 講師：大阪大学名誉教授・大阪医科大学LDセンター顧問 竹田 契一 氏 テーマ別研修会（7 講座）
27 年度	全体研修会 「子どもの心を育む関わり方」 講師：前京都市教育委員長・京都大学名誉教授 藤原 勝紀 氏 テーマ別研修会（7 講座）
28 年度	全体研修会 「気になる子どもの理解と対応」 講師：京都教育大学教授・附属特別支援学校校長 相澤 雅文 氏 テーマ別研修会（6 講座）

(7) 市教委作成教材（39 ページ参照）

- ・ 放課後まなび教室「計算問題集」（各学年別）（平成 23 年度～）
- ・ 放課後まなび教室「ことばの学習」（平成 26 年度～）
- ・ 京ことばカード（カルタ）、国語プリント（「京ことばに親しもう」ほか）（平成 27 年度～）
- ・ がんばりカード・干支のポイントカード（平成 28 年度～）

(8) 広報物

- ・ 放課後まなび教室実践事例集（平成 19 年度版、20 年度版、21 年度版）
- ・ 状況に応じた対応例（平成 23 年度版）
- ・ 放課後まなび教室ニュース（平成 27 年度～）（41 ページ参照）

3 放課後まなび教室Q & A

この項目では、スタッフの方々の素朴な疑問や悩みに、できる限り簡潔にお応えしようと、これまでの各教室の取組例を参考に、Q & A方式で構成しました。

ただし、各教室の趣旨、目的、これまでの経過や子どもたちの状況などにより、様々な対応が考えられますので、課題解決の一つの視点、工夫の一例、実践のポイントとして捉えていただき、スタッフ間及び関係者間で、課題意識や成果を共有していただければ幸いです。

※ 放課後まなび教室の事業概要等につきましては、下記のとおり、各実行委員会にCDで配布している資料を御確認ください。

手引き・マニュアルの名称	内容
放課後まなび教室実施の手引き	事業概要，組織・要員，事業の実施，安全管理，学校との連携
放課後まなび教室会計事務の手引き	会計事務
放課後まなび教室事務マニュアル ～1年間の事務の流れ～	実施に当たり，必要な事務内容をまとめて簡略化したマニュアル

(1) 子どもへの対応編

Q 参加カードを出さない子どもがいますが、どのようにすればよいでしょうか。

A 参加カードは、スタッフが子どもの帰宅時間を確認したり、学習経過を記録したり、激励などの声掛けをしたりするうえでとても大切なものです。そして、そのことを、まずは保護者に丁寧に説明することが重要です。

そのうえで、子どもがカードを大切にし、毎日持って来るような仕掛けや声掛けがポイントになります。例えば、子どもが喜びそうなかわいいスタンプやシールを出席印として活用したり、子どもの好きなイラストや写真などを参加カードに印刷して自分だけのオリジナルカードにするなど、様々な工夫が考えられます。

Q あまり来なくなった子どもに、どのように働きかけるとよいでしょうか。

A 教室にあまり来なくなったのは、「他に行くところが出来た」「友達と外で遊ぶようになった」など、様々な理由が考えられますので、担任の先生など、学校の教職員に状況をお話しして事情を聞くことが大切です。また、校内で姿を見かけたら、少しお話しをしてみたり、教職員から声掛けしてもらったりして、教室に意識が向くように、粘り強く働きかけることも重要です。

Q 子どもに学習意欲がなかったり、子どもが騒いだりして、他の子どもに影響を与えてしまうことがあります。どのように対応すればよいでしょうか。

A 学習意欲がないのは、授業で集中して疲れているのかもしれませんが、宿題の内容が分からずに戸惑っているのかもしれません。

例えば、「どうしたの？」と声掛けをしながら、少しでも頑張っている所を見付けて褒めたり、参加カードや連絡帳等にコメントを書いて激励するなど、常に子どもと粘り強く関わっていく姿勢が大切です。

また、騒ぐことは他の子どもに迷惑を掛けることになりますから、支援者の立場で「ダメなことはダメ」というようにき然と叱っていただくことも、子どもの成長にとってはプラスになります。子どもは、周りの大人にしっかりと「自分のことを見てもらっている」ということで安心感を得たり、うれしい気持ちにもなったりします。気になる点が少しでもあれば、学校の教職員と情報共有に努め、相談するなど、連携を図っていくことも大切です。

○が、10こでシール / まい

1	月	日	シール	算数1	算数2	チャレンジ	漢字
2	←	9		○○○	○○		
3	10		●	○○○	○○○	○○	
4	16		●	○○○○	○○○○	○	
5	24		●	○○○○	○		
6	31			○○○○			
7	6	9	●	○○○○	○○○		
8	13			○○○○			
9	6	20	●	○○○○	○○○○		
10		21	●	○○○○	○○		



Q スタッフがどんなに働き掛けても、返事をしなかったり、反応が全くなかったりする子どもがいます。どのような関わりをすればよいのでしょうか。

A あまり焦らず、例えば、「〇〇さん、こんにちは」と、冒頭に名前を付けて話掛けたり、好きな食べ物や趣味のことを聞く、子どもが話をしやすい雰囲気づくりを心掛けるなど、根気よく人間関係を作っていくことが大切です。

子どもからすると、「あまり声をかけて欲しくない」「静かに一人で学習したい」と思っているのかも知れません。教室に来るということは、その子どもなりの居場所があるということで、温かく見守ることが必要な場合もあります。

気になる点が少しでもあれば、学校の教職員と情報共有に努め、相談するなど、連携を図っていくことも大切です。

Q 子ども同士でけんかななどのトラブルになった場合、どのように対応すればよいのでしょうか。

A 両者から別々に話をじっくり聞くなど、相手の言動と自分の言動を冷静に振り返れるようにすることが大切です。そのうえで、顔を合わせて話し合わせると、お互いに冷静になり解決しやすくなります。

ただし、解決が難しい場合や、配慮が必要な場合もありますので、常に学校の教職員との情報共有に努めるとともに、場合によっては、保護者に連絡して話し合うことが必要なケースもあります。

Q 育成学級や発達障害のある子どもへは、どのような配慮が必要でしょうか。

A 一人一人に個性があり、配慮事項は一人一人異なります。その子どもの個性・特性を理解することが重要ですので、まずは学校の教職員との情報共有に努め、学校や保護者と十分に連携し、スタッフ間で共通理解を図ることが重要です。

例えば、担任の先生から支援のポイントを教えてもらったり、その子どもの放課後まなび教室の1日のスケジュールを作成し、ある程度見通しを持って活動を支援するなど、その子に合った支援を考えていくといった取組事例もあります。本冊子では参考として、学校における取組事例の一部を紹介しています（9ページ）。

Q スタッフに対する研修会は、どのような頻度で実施されているのでしょうか？

A 例年、年度当初に、最近のトピック的な内容を含め、子どもの関わり方等についての内容を扱う「全体研修会」を実施し、11月頃に、国語指導や読書指導などの個別的な内容を扱う「テーマ別研修会」（6～7講座程度）を開催しています。

平成28年度には、新たに、「手作り体験」というテーマで実際に子どもと活動できる簡単な創作活動を参加者全員で体験したり、「実践交流」というテーマを設定し、ワークショップ形式で情報交換を行う研修会も実施するなど、スタッフの方々からのニーズを踏まえた内容を取り入れて実施しています。

また、学童クラブとの連携の一環として、学童従事者を対象とした研修会（主催：京都市・公益社団法人京都市児童館学童連盟）にも、年間を通じて一定参加できるしくみになっています。

全ての研修会については、各学校長、実行委員長宛てにお知らせしますので、積極的な参加をお待ちしています。

(2) 保護者・地域・学校・児童館との連携編

Q 学校と家庭との連携を深めるためのポイントは。

A 連携の基本となるのは、情報発信と情報共有です。

放課後まなび教室は、大きく分けて、「学校生活や家庭学習をつなぎそれを補う場」、「学校や家庭ではできないことが体験できる場」としてのねらいがあります。

子どもたちの生活は日々連続していますので、学校の教職員や保護者に対して、放課後まなび教室の取組を積極的に情報発信したり、逆に学校や家庭の様子を聞いて、放課後まなび教室の運営にいかしていくことが大切なポイントとなります。

例えば、子どもたちの放課後まなび教室での頑張っている様子を「学校だより」などで報告したり、スタッフ会議で出た成果・課題を、学校と保護者に伝えていくことで、子どもの放課後の様子を把握してもらい、授業や家庭教育に役立ててもらおうといった取組事例などがあります。

Q スタッフの確保が課題であるが、どのようにすればよいか。

A 日頃から、放課後まなび教室の取組を、学校のホームページや広報誌などで、地域に向けて発信することが重要です。例えば、「日々子どもにこんな取組をしています」「スタッフをして、こんな良いことがあった」など、具体的な内容や成果を発信することで、新たな協力者が得られるかもしれません。

また、全ての小学校で組織されている「学校運営協議会」などと連携して、スタッフの確保・育成を、地域全体のこととして協力を求めたり、小中一貫教育の視点から、中学校と連携して中学校区全体で人材を育成し合うなど、持続可能な仕組みを構築することも大切です。

かつて放課後まなび教室に通っていた子どもが、大学生となり、放課後まなび教室のスタッフとして活躍いただいている例もあります。

教育委員会では、スタッフ公募制度も設けていますので、担当の放課後まなび教室コーディネーターにも気軽に相談してください。

Q 放課後の子どもの居場所として児童館や学童クラブもあるが、連携は必要か。

A 学童クラブに登録している子どもの中には、放課後まなび教室に来てから学童クラブに行く子どももいますし、登録していない子どもでも、放課後まなび教室に参加後、一旦帰宅して、友達と児童館で過ごすこともあります。

また、定例的に学童クラブと放課後まなび教室の合同行事等を実施して、たくさん子どもや大人と交流したり、遊びや交流を中心とした児童館のプログラムを放課後まなび教室の児童が体験したりすることも、子どもにとっては貴重な経験になります。

特に、児童館が隣接していたり、近隣にある地域は連携しやすい環境にありますので、可能であれば、学校の教職員、放課後まなび教室のスタッフ、児童館の間で、日常の連絡体制や、子どもの情報を共有しておくことも大切な視点です。

なお、平成29年2月には、地域と連携した学校体制の下、放課後まなび教室の取組の推進をはじめ、学校と学校に隣接する児童館等の望ましい連携の在り方を研究する学校を、「放課後まなび教室リーディング校」（18校）として指定しています。

【参考】

学校における具体的な支援事例

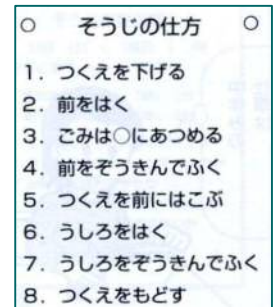
1 見通しを持ちにくい子どもへの支援事例

① 子どもの状況

見通しが持ちにくく、学習や活動に集中できずに離席してしまうことがあったり、自分の思い通りにならない場合や突然の変化にパニックを起こしてしまうことがある。

② 支援のポイント

- ア 個別に学習内容を丁寧に説明する。
- イ 活動をスモールステップに分け、活動の流れをプリントにするなど視覚化する。(右図)
- ウ 事前に活動の目標や計画の全体像を提示する。
- エ 予定の変更については、個別に事前に知らせておく。
- オ 気持ちを落ち着かせるクールダウンの時間を設ける。 など



③ 具体的な支援内容と成果や効果など

- ア 一斉指導の内容が理解しにくそうな場合に、教員等が学習手順の確認や励ましの言葉かけを行うことで、学習への集中力と自信が高まった。
- イ 学習内容の流れをプリントにして、一つずつ達成できるように支援を行った。
子ども自身のペースで学習に取り組むことにより、学習意欲が持続できるようになった。
- ウ グループ活動に際して、「これから活動を開始する」ことや「次はこうした活動をする」といったことを適宜伝える。安心感をもって活動に参加出来るようになり、放課後まなび教室や夏休みのプール学習にも積極的に参加するようになった。
- エ 具体的に「〇時〇分から〇分間、〇〇をする」とか「あと3人待ったら、あなたの番が来る」など具体的に示すことで、活動範囲が広まった。
- オ 集団から離れた場所でゆっくりと話を聞くことを繰り返すことで、子どもの方から困ったことがあれば訊ねてくるようになり、パニックを起こす回数が格段に減少した。
- カ 話しの意図や状況が理解しにくく、気持ちが荒れ始めたら、気持ちを落ち着かせてからゆっくりと話しをすることで、教員等、また、友人の話しを受け入れられるようになってきた。
- キ 自分のクラスの予定を見ながら、教員等と「自分の1日のスケジュール」を相談して決めることで、見通しやゆとりを持って学校生活を送れるようになり、イライラする場面が少なくなった。

2 自分の気持ちをうまく伝えられない子どもへの支援事例

① 子どもの状況

自分の思いを言葉で上手く表現できなかつたり、一方通行的な会話になりがちのため、集団での活動に馴染めなかつたり、場にそぐわない内容や音量で発言してしまい、友人関係を築けなかつたり、トラブルを起こしがちである。

② 支援のポイント

ア 友達と言い争いになったときに気持ちを落ち着かせておく言葉を教えておく。
（「だいじょうぶ」、「平気」、「がまんがまん」など）

イ 自分の思いや気持ちを伝える方法の
指導。（右図）

ウ ロールプレイで話し手と聞き手の役割を
交代して、会話の練習をする。

エ 教員等が仲裁者や調整者となる。

オ 「困ったノート」を作り、困ったことや
わからないことをノートに書きとめておき、
教員等に見せるように教えておく。 など

【 会話の仕方 】

（できれば、視覚化しておく）

- ・会話を始めるとき
→ ちょっと、いい？
- ・会話を続けるとき
→ うなづく、相づち、
わからないことを質問する
- ・話題を変えるとき
→ ちょっと、話が変わるけど
- ・会話を終えるとき
→ じゃあ、またね。
そろそろ帰る時間だから

③ 具体的な支援内容と成果や効果等

ア 休み時間などに、子どもたちの集団に入り
込み、話し方や聴き方を具体的に指導したり、
話題に即した内容となるようコントロール
することで、対人関係のスキルを学習させて
いる。子ども同士のグループ内でのトラブルについては減少してきている。

イ トラブルが発生した際に、教員等が仲裁者となりお互いの思いを伝え合わせたり、代弁したりしながら子ども同士の話し合いが進行するようにしている。お互いが誤解していたことや、理解の仕方の違いなどに気づくことで、教員等が不在でも子ども同士で解決する姿勢が見られるようになってきた。

ウ 昼休みや放課後などにソーシャルスキルトレーニングを行うことで、人とのコミュニケーションの取り方が理解できるようになり、周囲との接し方に迷う時は教員等に訊ねるようになってきた。

3 その他の「困り」と子どもへの支援事例

① 抽象的な指示は理解しにくいですが、すべき内容が理解出来れば学習に取り組むことが出来るため、教員等が指示内容を具体的に声にかけています。

② 長時間集中力を持続させることが出来ないため、15分ごとに声をかけて休憩を取らせることで、安心して学習に取り組めるようになった。

4 放課後まなび教室実践事例

放課後まなび教室では、地域・P T A・学生等の皆さんが、それぞれの地域の状況に応じ、工夫をこらした様々な取組を進めています。

この項目では、次の六つのテーマに沿って、各教室での具体的な取組を紹介いたします。

更なる取組の充実のために、必要に応じて参考にしていただければ幸いです。

(1) 教室入室から退室までの工夫	- - - - -	1 2
(2) 宿題終了後の子どもたちが楽しく活動する工夫	- - - - -	1 9
(3) 自学自習の習慣化を培う活動の工夫	- - - - -	2 3
(4) 長期休業期間中や長時間実施での活動の工夫	- - - - -	2 5
(5) 開（閉）講式，スタッフ会議の工夫	- - - - -	2 8
(6) 児童館，学童クラブ等との連携	- - - - -	3 0

(1) 教室入室から退室までの工夫

● A校の事例

子どもたちがめあてを持って来室し、自主的に学び、予定した学習をやり切って気持ち良く退室できるように工夫しています。

＜ポイント＞

- ① 子どもたちが参加カードを担当へ提出し、放課後まなび教室が始まるまでに、アドバイザーが名簿にチェックをします。スタッフは、事前に児童の参加を把握することができます。
- ② 入室と退室のルールや荷物置き場を設定することで、子どもたちが、けじめをつけて集中して学習ができるようにしています。
- ③ ファイルの表紙に放課後まなび教室での「めあて」を貼り、意識できるようにしています。
- ④ 子どもたちが意欲的に自主学習に取り組めるように、チャレンジしたプリント数をカードに記録したり、がんばりシールを貼ったりしています。

ポイント①



事前に参加カードが届いているので、始まるまでに参加児童を把握します。放課後まなび教室の時間は、子どもたちにしっかり関わることができます。

担任も、参加する子どもたちに「頑張っておいで」と声をかけます。

ポイント②



並んで入室します。挨拶をすると、名札とファイルを指定の場所から取り、自分の席に着きます。



ランドセルは友達との間に置き、荷物を整頓して、心を落ち着けて学習します。

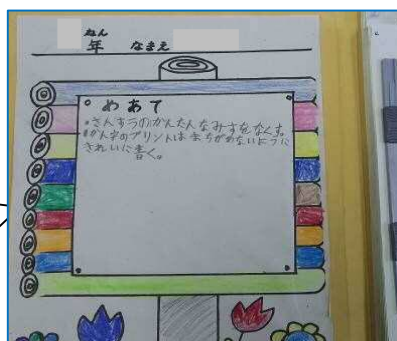
終了時刻になると当番を先頭に並び、次の「放課後まなび教室」の確認をしてから挨拶をして退室します。



自分の頑張りの様子が分かる表を見ると、次も頑張ろうとやる気が出ます。

ポイント③

一人一人がめあてを持って来室し、「頑張ったよ」という気持ちで帰れるようにしています。



ポイント④

がんばりシール / まい						
1	月	日	シール	算数1	算数2	漢字
2	5	9		○○○○	○○	
3	10	10	●	○○○○	○○○○	
4	16	10	●	○○○○	○○○○	○
5	24	10	●	○○○○	○	
6	31	10		○○○○		
7	6	7	●	○○○○	○○○○	
8	13	7		○○○○		
9	6	20	●	○○○○	○○○○	
10	21	10	●	○○○○	○○	

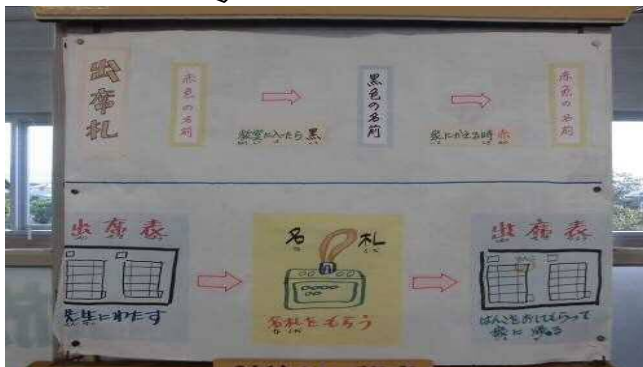
● B地域の事例

教室に入ってから工夫として、次のようなことを行っています。

⇒ ①②は教室に入ってから約束。③④は出席カードの工夫。⑤⑥は用具の整理整頓。

①

教室に入ってから約束を
絵で分かりやすく表示。



②

出席札があり、出席すると
赤札から黒札に裏返します。



③

名札にバーコードが記載され、バーコードリ
ーダーを使って出席カードを管理します。



④

児童出席カードにもバーコ
ードが記載されています。



⑤

子ども自身で、きちんと整理
しています。



⑥

はさみ等の置く場所を図で示してあ
り、いつも整理整頓されています。



● C校の事例

C校では、子どもたちは挨拶をして入室し、参加カードを提出、名札を付けて着席したら、独自に設定した三つの時間設定に沿って進めています。そして、活動終了が近づくと参加カードにシールを貼り、片付けをして退室するという流れになっています。

三つの時間設定について

それぞれの時間に親しみやすさとやる気が出るように、名前を付けています。

◆マストタイム

宿題、音読などを行う時間です。子どもたちによって進度は違いますが、終わるまで頑張っています。

◆きらきらチャレンジタイム

宿題が終わった子どもたちから、自主的に学習プリントに取り組む時間です。スタッフが準備したプリント2枚を目標に取り組みます。国語、算数を中心に難易度別のものや学習が進んでいるのを実感できるように級が上がっていくものなどを用意しています。その他、ゲーム性やパズルの要素のあるプリントを用意し、自主性を大切に、無理なく学習の習慣や力が付くように考えています。プリントは、各自でファイリングし年度末に持ち帰り、保護者に子どもたちの努力が分かるようにしています。



◆たのmanaタイム

「楽しく、まなぶ」をコンセプトにした交流の時間です。学習的要素のあるカードゲームや将棋、オセロやチェスなどのボードゲームや折り紙などを行っています。学年の枠を超えて楽しく過ごしています。



◇C校オリジナルの参加カードにかわいいシールを貼り、モチベーションアップにもつながっています。また、保護者がカードを見て宿題の確認もできます。



《参加カード》

このように三つの時間を設けたことで、教室では、子どもたちがメリハリのある時間を過ごすことができるようになりました。

● D校の事例

子どもたちの活動意欲を高め、努力や成果に満足できるように工夫をしています。
 <ポイント>

- ① 時間を有効に活用して、集中するように工夫しています。
- ② スタッフを活用して、集中して宿題や自主学習ができるように工夫しています。
- ③ 参加カードを活用して、様子等を家庭に連絡しています。

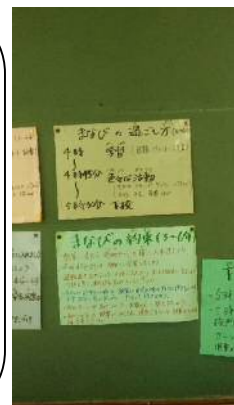
ポイント①

学習時間を決めることでみんなが集中して活動する。



まなびの約束を掲示

- ・参加カードを提出
- ・45分までは静かに学習
後は色々な活動
- ・宿題ができたら、先生に見てもらう
- ・部屋を出るときは先生に言う
- ・参加カードやおたよりは家の人
に見せる等



ポイント②

国算を中心に理解を深めたりアドバイスをもらったりするためにスタッフを活用する。

・宿題後の楽しみはゲームである。中でも紙工作は人気がある。お菓子の箱やロールペーパーの芯等を捨てずに集める。作品は持ち帰る。

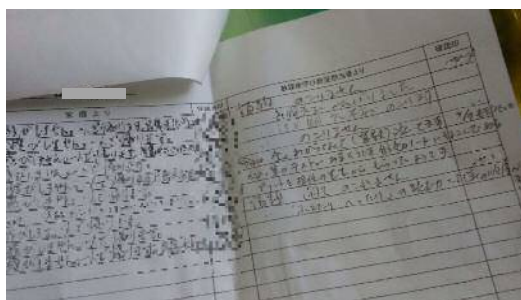
・高学年になると1日1ページの自主学習をする。調べ学習が多く、各自が楽しみながら工夫して表現している。



ポイント③

参加カードは出席確認と連絡に活用する。

・保護者との連絡は子どもの状態を理解するために必要です。成長や変化を報告している。



● E地域の事例

＜利用教室について＞

- ① 図書室，余裕教室，特別教室等を利用しています。
- ② 床にカーペットや畳を敷いて利用している学校もあります。
- ③ 放課後まなび教室だけの専用教室を使用している学校もあります。

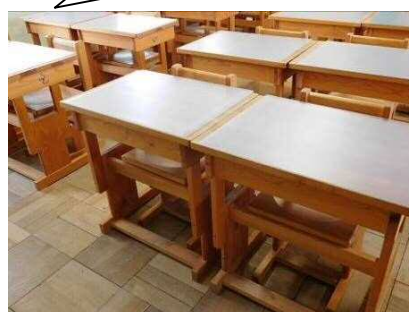
図書室に机を増設しています。



余裕教室を利用しています。



専用教室を利用しています。



＜教室環境の工夫＞

- ① 広々と勉強ができるように，机上を確保する工夫をされています。
- ② 参加児童が少しでも快適に過ごせるように，工夫をされています。

机上確保のため，カゴを利用しています。



フックを利用して，カバンを掛けています。



冬場は，床が冷たいので座布団を利用しています。



冬場も、暖かく快適に勉強ができます。

冬場，ジャンパーを掛けます。



服が汚れないので、大変うれしいです。

● F校の事例

子どもたちが学習に集中できるように、また、学習が終わった後は放課後まなび教室が、憩いの場となるような工夫を行っています。

<ポイント>

- ① 学年によって荷物を置く場所が決められています。
- ② 児童の席は学習に集中できるように、スタッフの方が決めています。
- ③ 宿題やプリントによる学習が終わってから、子どもたちが取り組む活動に必要な材料が色々と整理されて揃っています。
- ④ 子どもたちの作品が、教室の後ろに掲示されています。

ポイント①



机の上には、必要なものだけを置き、学習に集中できるようにしています。また、狭いスペースもうまく活用しています。

ポイント③



ポイント④



ポイント②



子どもたちの学習状況や人間関係を考慮して、より学習しやすいように席が決められています。

囲碁、将棋、オセロ等のゲーム類のほかに、簡単な工作や編み物ができるように、色々な材料が用意されています。

スタッフが指導し、友だちと一緒に作った作品は、教室の背面に掲示されています。友だちの作品を見ることで創作意欲がわいて、また新たな作品に取り組む子どもたちが増えてきています。

● G校の事例

「放課後まなび教室」に在籍する児童の参加意欲を高めるとともに、日々の活動をより充実したものにするために、教室や廊下の環境（掲示物等）を工夫し、参加する個々の子どもたち一人一人の心温まる活動空間づくりに努めています。

子どもたちは、この「放課後まなび教室」そのものを心安らぐ安心・安全の場と捉え、毎回、笑顔いっぱいの和やかな時間が流れています。



〈「放課後まなび教室」前の廊下の掲示物〉

放課後まなび教室での“基本的なルールやマナー”“目標”等々…、教室の前の黒板掲示には特に配慮をしています。

また、日々の活動により一層潤いを持たせるために、季節感のある掲示物や、子どもたちの制作物も工夫しています。

今回は、子どもたちが楽しみにしている「クリスマス」にちなんで、“クリスマスカード”を一人一人が作ることにしました。



サンタさんへ
のお願い
は、何にしようかな〜。

サンタさんへ…「放課後まなび教室、がんばっているよ！プレゼントは〇△をお願いします。」

(2) 宿題終了後の子どもたちが楽しく活動する工夫

● H地域の事例

① 写し絵や折り紙を使った活動について

- 子どもたちが自分の興味に沿って活動内容を考えていけるように、宿題をする時は一人一人が自分の児童椅子を使用しますが、教室に長机を設置することで、子どもたちが互いに顔を合わせながら活動することが可能になります。
- 写し絵に使う透明シートや蛍光ペン・油性ペンなどを準備しておくことも効果的です。また、見本となる折り紙の完成品や手順を示したものを、前もって作成しておくことで、子どもたちが見通しを持って活動することができます。



〔活動場所の確保〕



〔活動内容・資料の提供、支援の方法〕



② 自学自習の定着を目指した活動について

- 年度当初に、計算問題を中心とした学習プリントを作成して、個人用ファイルとして作成しておきます。個人用ファイルとして一括して保管しておけるので、学習プリントが散乱すること也不会になります。また、ファイルを保管するレターケースを準備することで子どもたちが自分で準備して取り組むことができるようになります。
- 自己採点ができるように、プリントに合わせて回答が記載してある用紙を作成して、それを見ながら子どもたちが自分で丸付けをできるようにします。この活動が定着することにより、スタッフが丸付けをするという負担がかなり軽減されます。



〔個人ファイルの準備〕



〔自己採点するための工夫〕

● I 校及び J 校の事例

宿題等の学習が終わった児童が、その後の時間を楽しく過ごせるように、以下の工夫を行っています。

<ポイント>

- ① 手先を使った体験活動を年に数回企画して、全児童が取り組んでいます。
- ② 知的玩具を何種類か用意して、児童が友達と一緒に取り組んでいます。

ポイント①



NPO法人『木育フォーラム』に出前授業をしてもらい、環境にとって木の果たす役割が大きいことを学習しました。その後、木を使ったアクセサリー作りを行いました。

< I 校 >



牛乳パックで作った型を使って、冬に暖かい「マフラー」作りにチャレンジしました。

1年生も頑張りました。

< J 校 >



ポイント②

学習の終わった児童は、まなび教室に置いてある知的玩具を使って、遊んだり作品を作ったりして楽しんでいます。

< J 校 >



レゴでオリジナルの恐竜を作ってみました。

将棋の入門者向けの「動物しょうぎ」で遊びました。



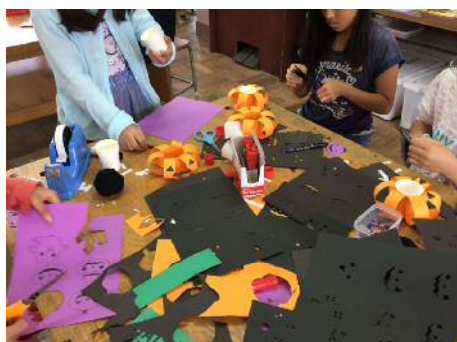
● K校の事例

毎週金曜日は、手作りの工作をしています。スタッフの方が色々な材料を用意し、子どもたちに楽しく作り方の指導をされています。宿題を終えた子どもたちは、隣の図工室に集まりスタッフの方と一緒に取り組んでいます。

＜ポイント＞

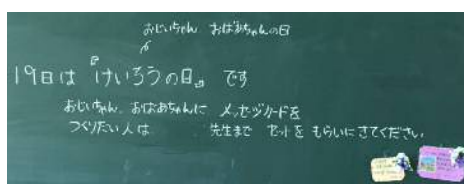
- ① 材料は１００円ショップなどで購入。
- ② 行事を生かした取組
- ③ 作った後もみんなで遊べる作品

ポイント①



身近にある材料を使っています。色画用紙や折り紙、ゼムクリップ、アイスクリームの棒、マカロニのアルファベットなどを使用。

ポイント②



祖父母への
メッセージ
カードです。



敬老の日やハロウィンの日に向けて、作品を作っています。

ポイント③

クリップキャッチャー、指を食べるイソギンチャク、ローマ字ネームブローチ、スライム、ラミネートコースター、さそりの標本、ブーメラン、ぶんぶんゴマ、プラバンなどがあります。

● L校の事例

自慢の工作教室

- ・宿題を終えた後、工作コーナーを用意し、楽しい工作ができるようにしています。
- ・誰がスタッフになってもできるよう簡単なマニュアルを用意し次の日に引き継いでいます。

<ポイント>

- ① 2か月ごとにスタッフミーティングをしています。児童の様子や気になること、次回の教材についても話し合い、情報を共有しています。
- ② 材料や製作の準備は、スタッフ全員で分担してやります。子ども達全員が「できた！」という喜びを味わえるよう、スタッフが協力して準備をしっかりとします。
- ③ 一回でできなくても、次のとき、どのスタッフでも続きの指導ができるよう連絡帳を活用しています。

作品例



好きな時に好きな塗り絵を選んでします。24色の色鉛筆とコピー機が大活躍です。



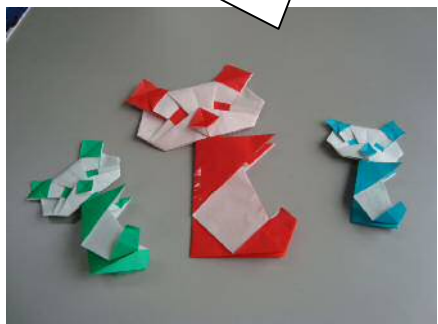
日本古来の「結ぶ」という技をクラフトにしました。小さなパーツからだんだん丸くなってくる「玉結び」にわくわくします。



大きな箱の中くらいの箱が、中くらいの箱に小さな箱が・・・どこまで続くかマトリョーシカ風小物入れ。



たまには、大型折り紙を使って。こんなかわいいパンダが出来上がりました。



夏祭りには、うちわを作って持っていこう。

年の最後は、自分の写真をパチリ。布と牛乳パックを使った写真入れに入れました。



(3) 自学自習の習慣化を培う活動の工夫

● M校及びN校の事例

【M校】

宿題を中心とした学習に取り組み、それぞれの課題を終えた子どもたちは学年ごとに入れてある「まなびプリント」を自分で選び自学自習に向かいます。

＜ポイント＞

- ① 自分の課題を終えた後の「まなびプリント」を多数用意してあり、自分で選び自主学習に取り組みます。「まなびプリント」をすることを強制していませんが、各自1～2枚することが多いです。
- ② 「まなびプリント」を終えるとスタッフに見てもらい丸付けをしてもらった後、自分の「がんばりカード」にとして、シールをもらい表紙に貼り付け自習学習の足跡として残しています。



それで何枚
目なの？

次はどれにし
ようかな！



人気のキラ
キラシール
もあります。

【N校】

宿題や音読をした後、子どもたちは自習プリントを学年のケースから取り、自主学習として取り組み、答え合わせまで自分で行います。

＜ポイント＞

- ① 自主学習用としてその日に行うプリントを複数用意してあり、宿題や音読を終えた子どもたちはプリントの自主学習に取り組みます。
- ② 子どもたちが困っているときには、答えをすぐに教えるのではなく、自力解決ができるようにアドバイスをしています。解答も用意してあり、プリントを終えた子どもたちは自分で丸付けをして、個人のファイルにとじます。



もう少しだ

全部合ってい
るといいな。

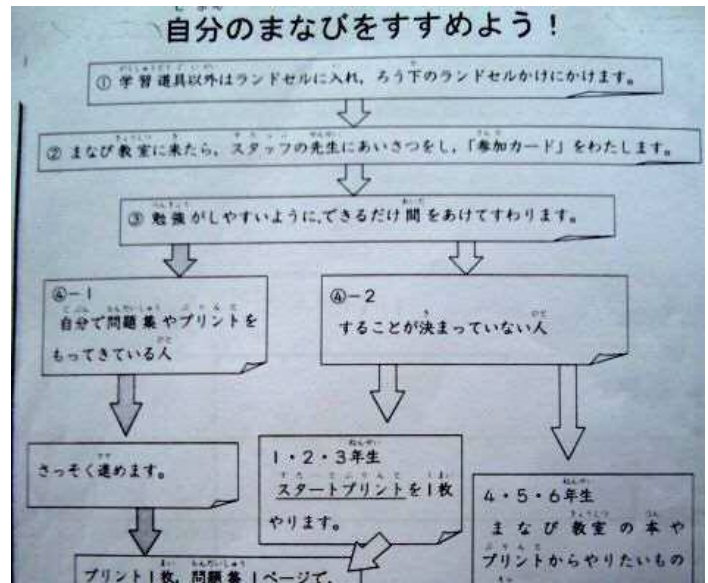


自分のファイルにとじ
ます。

● ○校の事例

子どもたちが将来自分の学習課題を主体的に解決できること、学習習慣を身に付けることをねらいに「自分のまなびをすすめよう」(A4ファイル)を一人一冊配布して学習をしています。

- ・このファイルには何枚かのポケットを差し込んでいます。



ポケット①には「自分のまなびをすすめよう」のプリント

…子どもたちはこのプリントを参考に、コースを見極め進めていきます。

ポケット②には、「実際に学習した成果物」としてのプリントを入れます。

見開きページ内側には、クリップ止めをし「まなびのあしあと」ととじます。

「まなびのあしあと」には、その日に学習した内容を書き込みます。スタッフは、学習したプリントを見て、丸付けをしたり一緒に調べ学習を進めたりして、サインをします。

ファイルの表紙には、がんばりチェックカードを貼付け、1枚プリントを済ませるごとに番号を色塗りします。プリントを100枚済ませると、文字が完成します。

まなびのあしあと		
月 / 日 (曜)	ちようせんすること・ちようせんしたこと (れい) △△△△のプリントを1まい ○○○○のもんだいしゅうの○○ページ	てんけん
6-29 (水)	スタートプリント・かんづらおもてさんすうらう もてまるごと20枚おもてごうけい 8まい	(Ch)
6-30 (木)	プリント8まい	(マ)
7-21 (水)	プリント4まい	(マ)

ファイル表紙: プリントを済ませる→番号を色塗り→文字が浮かび上がる。



子どもたちは、まず「○年生のスタートプリント」を学年に応じた引出しから出して学習します。その後、漢字検定や全科ドリルなどのテキストを選んで、学習を進めます。

「次は何をしようかな」という子どもの声に、スタッフから「今、教科書のどこを習っているの」と、さりげなく問掛けをして、ヒントを与えます。

(4) 長期休業期間中や長時間実施での活動の工夫

● P 地域の事例

長期休業中の「放課後まなび教室」は子どもたちが普段以上にゆっくりと過ごせる「安心・安全」の場を保障しています。休業中に乱れがちな生活習慣の確立と、自学自習の力の定着を目指しています。

＜ポイント＞

- ① 休業中の初め、又は終わりの一定期間を、学習集中の期間として設定しています。
- ② 子どもたち同士、あるいはスタッフと一緒にゲームや工作等を楽しみ、ゆったりと時間を過ごしています。
- ③ 夏季休業や冬季休業時に、特別教室を実施して楽しんでいます。



夏休みの初めの時期は課題をやりきる学習が中心です。分からないところはスタッフに聞きながら、課題を克服しています。終わりの時期は、主に自由研究の相談にやってきます。スタッフのヒントがアイデアにつながります。



どんどん強くなるね。
頼もしいなあ！

普段は宿題などに追われ、なかなかゆっくりとできませんが、夏休みは格別です。友達とゲームをしたり、かるたをしたり、時にはスタッフの先生に将棋や囲碁を教えてもらったり…。

季節や行事に合わせて
特別教室を実施しています。

冬のイベント

人形劇あり、腹話術あり
楽しくてみんな大喜び
でした。



冬のお楽しみ会

ゲームや読み聞かせ等…。
図書ボランティアさんにも
手伝ってもらっています。
来年の干支のマスコットも作ります。



サイエンス教室

夏の取組です。去年は凸レンズでカメラを作りました。今年は水を動かす実験をしました。

● Q校の事例

家庭訪問期間や4時間授業（研究授業等学校行事の関係）の際に、異年齢の子どもたちが意欲を持って一緒に取り組める企画を計画し、実施しています。

<ポイント>

- ① スタッフの増員（事前の打合せと協力）
- ② 学校の理解と協力
- ③ 楽しく安全を確保する。

□スタンプラリー

～スタンプラリーの面白さ～

- ・校庭や学校の敷地内を思い切り走り回れる。
- ・様々な場所（鉄棒、手洗い場等）でスタンプを集めるという楽しさ。
- ・コースを自分たちで選択できる自由性。
- ・出題される問題を解く面白さ。



放課後まなび教室 スタンプラリー なまえ（ ）					
ヒント	 いろいろな花で きれいだね	おいてあるの は・・・？ 		このたてもの はどこかな 	
スタンプ					
? コース					
? コース					
☆コース					

スタンプラリー用紙の例

○準備するもの

- ・スタンプ用紙
- ・スタンプ
- ・箱

○楽しく安全のために

- ・けがのないようにスタッフの目の届くところに設置

□宝さがしゲーム



～宝さがしの方法～

- ・普段使っていない教室を借りる。
- ・10人ほどのグループで協力して行う。

問題を書いた紙（絵）を探す



問題を解く→鍵を手に入れる→宝箱が開く

◇スタッフの皆様との触れ合い

自分の課題を済ませると後片付けをして、自分の好きなゲームを友達はもちろんスタッフの方をお願いして始めます。その姿を見ていると温かい家庭の雰囲気を感じます。放課後まなび教室の大切にしたい「安心安全の居場所」であり、地域の皆様が地域の子どもたちを見守り育てる姿があります。



● R校の事例

毎年夏季休業には理科的な体験学習を行っています。色々なシャボン玉づくり，ペットボトルを使った顕微鏡づくり，偏光板を使ったステンドグラスづくりなど，簡単で子どもたちが興味関心を持ち，意欲的に取り組めるプログラムを提供しています。

偏光板を使った簡単なステンドグラスづくりの場合

◇「光」の性質を利用してステンドグラスを作ってみましょう。

<用意する物>

- ・透明なプラスチック版1枚（80mm×80mm）
- ・偏光板2枚（各80mm×80mm）

注 偏光板は表面に細い隙間がいっぱいに並んだ板で，それを重ねることで光を通したり通さなかったりします。同じ方向に重ねれば光を通し，縦横交互に重ねれば，画面の線が目の細かいチェック模様になり，光を通さず真っ暗になります。

自分の好きな形の
ステンドグラスを
作ろう！



<作り方>

- 1 プラスチック版に，三日月や星などの好きな形をマジックで描く。
- 2 描いた形を覆うように，2～3cm に切ったセロハンテープ20～30片を，方向を変えて貼っていく。
- 3 途中で偏光板を当てて模様を見てみる。必要に応じて，セロハンテープを更に重ねて貼る。
- 4 貼り終わったら，描いた形に沿ってはさみで切る。
- 5 切り取った形のプラスチック版を2枚の偏光板で挟み，光にかざしてみると，ステンドグラスのように見える。

* 作り方は，色々あります。

- ・ プラスチック版全体にセロテープを貼り，好きな形に切り抜いた画用紙を2枚の偏光板に挟むなど。

* 偏光板の性質を生かして色々工夫できます。

冬季休業の年末には，毎年お楽しみ会を兼ねたゲームやクイズ大会を実施しています。

ほら，できた！



(5) 開（閉）講式，スタッフ会議の工夫

● S 地域の事例

開講式は，実行委員会会長，委員，スタッフ，校長，放課後まなび教室担当教員及び担当コーディネーターが参加して行われています。

開講式では，担当教員の司会・進行により，まず，実行委員長，校長及び担当コーディネーターが入室した子どもたちに挨拶をします。そして，スタッフから，放課後まなび教室のルールや準備物の確認，最後にスタッフ紹介などが行われます。

その後，子どもたちが宿題や準備されたプリント，持参した課題に向けて取り組みます。各スタッフが子どもたちに寄り添い，アドバイスを与えたり，励ましの声掛けをしたりしています。それぞれの学校で，入室した子どもたちがこの１年間頑張れるよう，人的環境，物的環境の充実を目指して取り組んでおられます。



【励ましの挨拶をする委員長や校長】



【教室の決まりやルールを説明するスタッフ】



【子どもたちに自己紹介をするスタッフ】



【スタッフに質問する子どもたち】



【気軽に声掛けをする担当コーディネーター】

※ 開講式では，放課後まなび教室の子どもたちがこの一年間参加するための参加カードの説明を行います。

また，学校によっては保護者とスタッフとをつなぐ連絡袋などの事務的なことも

子どもたちに分かりやすく説明しています。



● T校及びU校の事例

【T校】

開講式には実行委員会会長，委員，保護者，スタッフ，校長，教員及び担当コーディネーターが参加して行われています。放課後まなび教室の参加意欲が高まり，ルールや準備物の確認，スタッフ紹介などが行われています。保護者の参加によってスタッフと顔見知りになり，連携がとれるようになり，良好な人間関係が構築されています。



開講式前や夏休み前，1年生参加前後など節目ごとにスタッフ会議が年間5回行われています。子どもたちの活動の様子，指導体制，今後の活動など情報の共有が活発に行われています。参加メンバーは実行委員会会長，委員，スタッフ，校長，教頭，教務主任及び担当コーディネーターです。



【U校】

三月に閉講式が実施されています。実行委員会会長より修了書が渡されます。この修了書の授与により子どもたちの参加意欲が高まり，1年間頑張ったことが次年度へとつながって，とても励みになっています。

修了証

年 さん

一年間放課後まなび教室でのあなたの努力をみとめこれを証します。

二〇一六年三月十一日

〇〇小学校
放課後まなび教室委員長
〇〇〇〇

〇〇小学校
放課後まなび教室委員長

(6) 児童館、学童クラブ等との連携

● V校の事例

放課後まなび教室・児童館・学校の3者が、子どもたちの状況や様子について適宜情報を共有し、自学自習及び安心安全の場になるよう連携しています。

<ポイント>

- ① 放課後まなび教室の開講式に学校の管理職及び児童館の館長も出席してくださり、教室参加の心構えや教室終了後の児童館へ来館するときの約束や決まりなどについて話をしていただいています。
- ② 放課後まなび教室のスタッフ会議の記録を学校に渡し、会議で共通理解したことや取組内容、課題や成果などを学校に知らせるようにしています。



宿題や放課後まなび教室のプリント等を
終えた子どもたちは、友達と
楽しく過ごし、その後児童館
へ行く子どもたちが
います。



同じ校舎1階
の左側が放課
後まなび教室
の入り口、右
側が児童館の
入り口です。



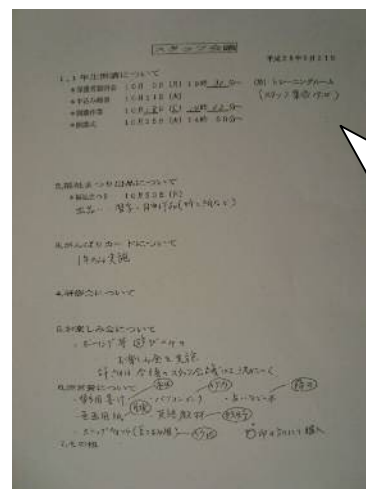
直接来館する子どもたち

連絡や相談等があれば、放課後まなび教室のスタッフと児童館の職員が行き来しています。

今日の実験は何だろうな



児童館事業のクラブ活動（工作・実験・切り紙・切り絵等）に放課後まなび教室の児童も参加しています。



スタッフ会議の
記録です。

スタッフ会議には、管理職の先生も参加してくださることがあります。

● W校の事例

W校では、放課後まなび教室と地域学童が実施されています。「学童まなび運営委員会」が設置され、学校、放課後まなび教室スタッフ、学童クラブスタッフ、自治連合会が一体となった組織になっています。

放課後まなび教室と学童クラブの合同行事として年4回程度、茶道教室、手作り工作教室、草木染などの行事が行われています。

学童クラブは、平日午後5時から6時まで実施され、土曜日も開所されています。書道教室、ダンス教室、美術教室など体験活動を中心に豊かな活動が実践されています。

合同行事の紙工作「玉むすび」

放課後まなび教室と学童クラブのスタッフが放課後まなび教室のテーマ別研修会（紙工作「玉むすび」）に参加し、実習してきた手作り紙工作を子どもたちに教え、実践している写真です。



出来上がった子どもたちの作品



合同行事の茶道教室

年2回、地域の茶道の師範に来校いただき、茶道教室を実施している写真です。

先生に作法を教えてもらっています。



おいしくお茶をいただいています。



● X校の事例

① 連絡体制

- 学校運営協議会（文化・学習支援委員会）に、放課後まなび教室の実行委員長やスタッフ、児童館の館長が、理事・企画推進委員として参画しています。
- 放課後まなび教室の実行委員に、学校の管理職と児童館の館長が就任しています。

学校運営協議会



放課後まなび教室には、児童館に通う多くの子どもたちが登録しています。子どもたちの様子や学習支援の方法などについて情報交換し、共有するようにしています。



学校運営協議会主催の「〇〇チャレンジ」には、学校・地域（放課後まなび教室スタッフを含む）・保護者・児童館が協力して取り組みます。

総合的な学習の時間や生活科、社会科等の学習活動において、放課後まなび教室の地域スタッフが、学習支援・協力をしています。

② 児童館との連携

- 放課後まなび教室や児童館のスタッフの協力の下で行う“〇〇プロジェクト”や“墨のアート”などの休日の取組に、放課後まなび教室や児童館の多くの子どもたちが参加しています。
- 折り紙やけん玉など共通の昔遊びに取り組んでいます。



引き続き児童館に行く子どもを参加カードと児童名簿で確認し、「時間だよ。気をつけて行っておいで。」などと声掛けをしています。



筆を使って楽しく書くことをまなびました。大きな文字にも挑戦し、子どもも大人も楽しみました。

〇〇神社で行われたフタバアオイの奉納式に、地域スタッフと共に放課後まなび教室や児童館の子どもたちも参加しました。そして、学校で育てたフタバアオイを神社の敷地に返しました。



児童館のお祭りでは、おみこしが地域を回ります。地域スタッフさんも温かく見守っています。

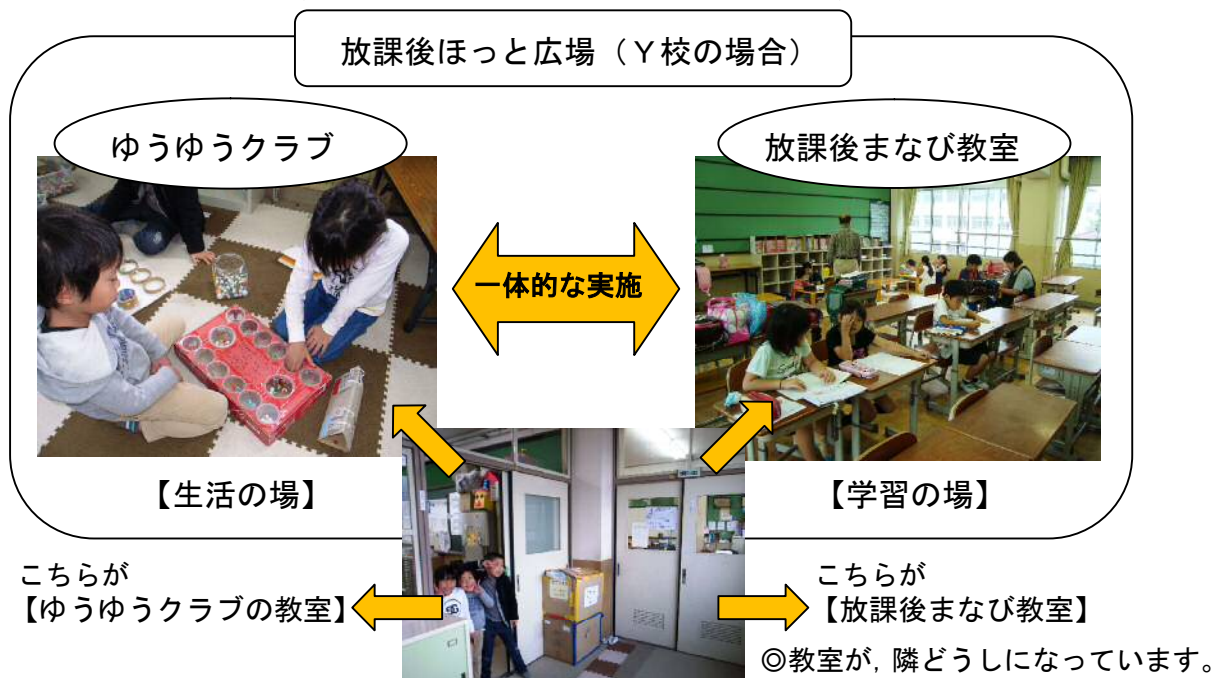


放課後まなび教室には、フタバアオイの鉢植えが置かれ、地域スタッフより葵祭りについて教えてもらいました。

● Y校の事例

「放課後まなび教室」と「学童クラブ」機能を有する事業（「ゆうゆうクラブ」）とを緊密な連携の下に運営する「放課後ほっと広場」が、京都市では8小学校内で実施されています。

Y校の放課後まなび教室の子どもたちの中には、放課後まなび教室で学習をした後、隣のゆうゆうクラブへ行く子が、数多くいます。子どもたちは、放課後まなび教室とゆうゆうクラブの両方が“放課後の居場所”になっていて、毎日それぞれの良さを体験しています。



【放課後ほっと広場】で、両教室合同の取組を行いました。



「交流夏祭り」に
両教室の児童が参加



「ぬり絵コンテスト」に
両教室の児童が応募



両教室合同での「陶芸教室」

◎ 放課後まなび教室リーディング校の指定を受け、放課後まなび教室に「大型テレビ」を設置しました。今後、放課後まなび教室とゆうゆうクラブの合同行事『教育映画会』を、定期的の実施しようとしています。



参考資料

① 平成 28 年度 学校別実施状況一覧（平成 29 年 1 月末現在）	3 6
② 京都市教育委員会作成教材の紹介	3 9
③ 放課後まなび教室ニュース	4 1
④ 学習サポーター募集チラシ	5 1
⑤ 総合支援学校（小学部）在籍児童の参加についての御案内	5 3
⑥ 平成 28 年 4 月 全市校園長会配布資料	5 5

平成28年度 放課後まなび教室実施状況一覧（平成29年1月末現在）

支部	校 区	日数	対象児童数(人) 【28.5.1現在】			登 録 児 童 数(人)										登録率(%)			うち、学童クラブ児童登録数							
			1-3計	4-6計	全計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1-3計	4-6計	全計	1-3率	4-6率	全率	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		
北上	元町	3	51	46	97	9	8	6		7	2	23	9	32	45.1	19.6	33.0									
	上賀茂	3	305	280	585	23	22	25	4	3	1	70	8	78	23.0	2.9	13.3									
	桜野	3	294	320	614	23	36					59		59	20.1		9.6									
	大宮	3	364	391	755	18	51	13	14	10	2	82	26	108	22.5	6.6	14.3									
	待鳳	3	168	191	359	5	15	12	4	8	1	32	13	45	19.0	6.8	12.5									
	鳳徳	4	138	134	272	16	25	12	10	3	1	53	14	67	38.4	10.4	24.6	2						2		
	紫竹	4	137	110	247	20	28	28	3	5	2	76	10	86	55.5	9.1	34.8	10	7	6				23		
北下	鷹峯	3	98	90	188	15	28	29	15	2	2	72	19	91	73.5	21.1	48.4	5	7	13				25		
	紫明	3	105	103	208	20	17	20	3		4	57	7	64	54.3	6.8	30.8	6	4	2				12		
	紫野	4	151	100	251	22	20	28	28	9	15	70	52	122	46.4	52.0	48.6	2						2		
	柏野	5	63	55	118	5	9	9	5	4	1	23	10	33	36.5	18.2	28.0	2	7	4	4	2		19		
	楽只	3	16	24	40	3	2	3	6	1		8	7	15	50.0	29.2	37.5									
	衣笠	4	142	122	264	29	29	27	12	7	6	85	25	110	59.9	20.5	41.7	11	5		1			17		
	金閣	3	210	252	462	7	10	8	13	9	1	25	23	48	11.9	9.1	10.4									
上京	大將軍	3	88	77	165	9	8	21	10	6		38	16	54	43.2	20.8	32.7									
	室町	3	133	126	259	17	14	18	11	10	5	49	26	75	36.8	20.6	29.0	13	3	9	2	2		29		
	京極	3	83	70	153	13	13	6	7		4	32	11	43	38.6	15.7	28.1	1	1	1				3		
	新町	3	241	225	466	24	28	12	8	5	2	64	15	79	26.6	6.7	17.0	4	5	2	2	1	1	15		
	西陣中央	5	306	320	626	23	8	24	10	2	9	55	21	76	18.0	6.6	12.1		1	3				4		
	乾隆	3	84	93	177	12	15	13	8	5	11	40	24	64	47.6	25.8	36.2									
	翔鸞	3	114	108	222	4	5	4		4	4	13	8	21	11.4	7.4	9.5	3						3		
中京	仁和	3	192	186	378	18	4	21	3	4	4	43	11	54	22.4	5.9	14.3									
	正親	3	94	80	174	6	9	11	7	2	1	26	10	36	27.7	12.5	20.7	1	2	2				5		
	二条城北	4	261	263	524	22	20	23	12	2	2	65	16	81	24.9	6.1	15.5	4	5	4		1		14		
	御所南	3	614	642	1256		33	14	17	2	4	47	23	70	7.7	3.6	5.6									
	高倉	3	366	342	708	21	24	26	26	27		71	53	124	19.4	15.5	17.5									
	洛中	3	90	69	159	21	12	14	6	4		47	10	57	52.2	14.5	35.8	12	3	7	1			23		
	朱雀第一	4	258	230	488	31	30	36	9	8	2	97	19	116	37.6	8.3	23.8									
下京	朱雀第二	3	165	120	285	23	35	34	15	21	15	92	51	143	55.8	42.5	50.2	6	7	9	1			23		
	朱雀第三	3	164	156	320	30	12	11	12	4	1	53	17	70	32.3	10.9	21.9									
	朱雀第四	3	154	135	289	7	11	4	2	3	11	22	16	38	14.3	11.9	13.1									
	朱雀第六	3	83	98	181	11	9	15	13	5	8	35	26	61	42.2	26.5	33.7	3	2	1				6		
	朱雀第七	3	113	146	259	4	17	8	2	7	2	29	11	40	25.7	7.5	15.4	2	3					5		
	朱雀第八	4	206	187	393	33	35	25	15	6	4	93	25	118	45.1	13.4	30.0									
	洛央	3	298	270	568	32	39	41	22	12	8	112	42	154	37.6	15.6	27.1		3	8	4	2		17		
東山	下京涉成	3	116	135	251	11	34	19	23	26	9	64	58	122	55.2	43.0	48.6		7	4	3	5		19		
	醒泉	3	106	111	217	11	21	12	10	2	8	44	20	64	41.5	18.0	29.5	3	5	2				10		
	淳風	3	54	60	114	4	3	8	2	1	1	15	4	19	27.8	6.7	16.7									
	梅小路	3	130	121	251	25	35	28	22	22	15	88	59	147	67.7	48.8	58.6	5	7	5	1			18		
	光徳	3	124	149	273	13	6	13	4	6	1	32	11	43	25.8	7.4	15.8	2		4				6		
	七条	3	278	237	515	31	56	31	34	15	3	118	52	170	42.4	21.9	33.0	18	7	6	4	3		38		
	西大路	3	57	66	123	9	18	18	13	13	7	45	33	78	78.9	50.0	63.4	3	10	6	4	2		25		
南	七条第三	3	203	188	391	41	33	33	27	7	3	107	37	144	52.7	19.7	36.8	22	13	9	2	1		47		
	開晴	3	258	277	535	27	35	18	29	3		80	32	112	31.0	11.6	20.9	3	12	3		6		24		
	東山泉	5	255	222	477	27	33	42	29	32	1	102	62	164	40.0	27.9	34.4									
	九条弘道	5	70	50	120	10	9	7		1	1	26	2	28	37.1	4.0	23.3	3	5	2				10		
	九条塔南	3	155	131	286	6	1	6	3	2		13	5	18	8.4	3.8	6.3									
	南大内	3	79	78	157	15	23	21	19	12	15	59	46	105	74.7	59.0	66.9	6	11	2	6			25		
	唐橋	3	254	248	502	9	4	16	5	5	2	29	12	41	11.4	4.8	8.2	4		2	2			8		
久世西	凌風	3	255	241	496	19	20	29	18	3		68	21	89	26.7	8.7	17.9	3	3	3				9		
	吉祥院	5	281	242	523	33	29	33	20	12	4	95	36	131	33.8	14.9	25.0	7	1	1	3			12		
	祥栄	3	190	204	394	8	9	19	5	1		36	6	42	18.9	2.9	10.7									
	祥豊	3	191	195	386	12	29	20	7	2		61	9	70	31.9	4.6	18.1									
	上鳥羽	3	189	181	370	18	34	22	24	3	1	74	28	102	39.2	15.5	27.6									
	大藪	3	205	204	409	12	23	25	10	4	10	60	24	84	29.3	11.8	20.5									
	久世西	5	337	308	645	39	28	28	22	7	2	95	31	126	28.2	10.1	19.5									

支部	校 区	日数	対象児童数(人) 【28.5.1現在】			登 録 児 童 数(人)										登録率(%)			うち、学童クラブ児童登録数							
			1-3計	4-6計	全計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1-3計	4-6計	全計	1-3率	4-6率	全率	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		
左京北	明德	5	294	291	585	30	30	42	12	15	1	102	28	130	34.7	9.6	22.2		9	7				16		
	岩倉南	3	414	359	773	26	43	43	12	6	1	112	19	131	27.1	5.3	16.9	15	20	16	1	1	1	54		
	岩倉北	3	153	146	299	24	25	26	23	20	6	75	49	124	49.0	33.6	41.5	8	6	8				22		
	八瀬	5	33	28	61	13	8	5	6	4	6	26	16	42	78.8	57.1	68.9	9	4	3			2	18		
	大原	5	17	23	40	4	6	5	9	5	3	15	17	32	88.2	73.9	80.0	1	4	4	4	1		14		
	市原野	4	139	146	285	6	15	20	13	3	1	41	17	58	29.5	11.6	20.4									
	静原	5	12	7	19	6	1	3	3	1	1	10	5	15	83.3	71.4	78.9									
	鞍馬	3	13	9	22	4	3	5		3	5	12	8	20	92.3	88.9	90.9									
	花背	5	10	10	20	4	3	3	3	2	5	10	10	20	100.0	100.0	100.0									
左京南	錦林	3	292	237	529	30	39	33	16	16		102	32	134	34.9	13.5	25.3	14	9	7	2	2		34		
	第三錦林	3	108	119	227	16	11	10	8	8		37	16	53	34.3	13.4	23.3	3	1	2				6		
	第四錦林	4	150	125	275	11	24	11	9	4		46	13	59	30.7	10.4	21.5	7	17					24		
	北白川	3	182	144	326	19	19	7	2	3		45	5	50	24.7	3.5	15.3		1					1		
	養正	3	84	73	157	11	5	9	9	1		25	10	35	29.8	13.7	22.3	8	3	6				17		
	養徳	3	212	200	412	18	21	23	6	7		62	13	75	29.2	6.5	18.2	2	6	6				14		
	下鴨	3	181	177	358	28	36	24	14	3		88	17	105	48.6	9.6	29.3	7	7	5	4			23		
	葵	3	220	210	430	19	19	15	6	4		53	10	63	24.1	4.8	14.7		1					1		
	修学院	5	351	302	653	27	31	33	16	4	3	91	23	114	25.9	7.6	17.5	1	6	4		1		12		
	上高野	3	174	165	339	32	19	17	7	4	4	68	15	83	39.1	9.1	24.5	14	6	7	3			30		
	修学院第二	3	203	172	375	12	32	19	5	5		63	10	73	31.0	5.8	19.5	1						1		
松ヶ崎	4	172	153	325	19	24	11	7	9		54	16	70	31.4	10.5	21.5										
山 科	山階	3	118	108	226	5	18	6	5	7	3	29	15	44	24.6	13.9	19.5		1			1		2		
	西野	3	131	129	260	12	8	12	16	23	13	32	52	84	24.4	40.3	32.3									
	山階南	4	332	293	625	44	50	49	25		1	143	26	169	43.1	8.9	27.0									
	安朱	3	96	113	209	19	23	17	25	4	2	59	31	90	61.5	27.4	43.1		4	3	3			10		
	鏡山	5	245	253	498	27	31	30	13	6	2	88	21	109	35.9	8.3	21.9									
	陵ヶ岡	4	172	186	358	8	22	17	5	2	5	47	12	59	27.3	6.5	16.5									
	音羽	3	168	139	307	18	15	8				41		41	24.4		13.4	7	8	1				16		
	音羽川	3	199	216	415	29	36	30	8	8		95	16	111	47.7	7.4	26.7	7	13	12		1		33		
	大塚	3	288	328	616	20	25	17	17		1	62	18	80	21.5	5.5	13.0									
	勤修	3	211	300	511	28	27	16	9			71	9	80	33.6	3.0	15.7									
	小野	3	247	271	518	14	16	8	9			38	9	47	15.4	3.3	9.1	3	9	5	3			20		
	百々	5	299	347	646	10	20	7	8	3		37	11	48	12.4	3.2	7.4			1				1		
	大宅	3	324	343	667	39	36	16	13	4	1	91	18	109	28.1	5.2	16.3									
右京北	嵯峨	5	263	275	538	60	45	46	30	14	15	151	59	210	57.4	21.5	39.0	27	19	15	5	6		72		
	広沢	3	163	173	336	21	15	13	9	4	3	49	16	65	30.1	9.2	19.3	5	2	2	1			10		
	嵐山	3	200	196	396	19	24	18	5	10	6	61	21	82	30.5	10.7	20.7	5	2	1				8		
	宕陰	3	3	5	8	1	2		3		2	3	5	8	100.0	100.0	100.0									
	常磐野	5	282	282	564	19	33	27	35	16	1	79	52	131	28.0	18.4	23.2									
	嵯峨野	4	319	363	682	36	51	52	24	18	14	139	56	195	43.6	15.4	28.6									
	御室	5	147	184	331	17	37	13	25	22	18	67	65	132	45.6	35.3	39.9									
	宇多野	3	242	230	472	20	21	13	3	4		54	7	61	22.3	3.0	12.9	3	2	1				6		
	花園	3	109	112	221	16	15	17	8	2	4	48	14	62	44.0	12.5	28.1	2	1	2				5		
	高雄	3	47	68	115	6	9	1	1			16	1	17	34.0	1.5	14.8									
	京北第一	3	46	52	98	14	19	12	17	17	17	45	51	96	97.8	98.1	98.0									
	京北第二	3	25	32	57	9	8	7	13	9	10	24	32	56	96.0	100.0	98.2	3	1	2				6		
	京北第三	3	25	39	64	4	8	14	9	13	17	26	39	65	104.0	100.0	101.6	1	3	5		2	1	12		
右京南	太秦	5	451	468	919	21	30	43	37	7	17	94	61	155	20.8	13.0	16.9									
	南太秦	3	145	153	298	4	21	19	3	4		44	7	51	30.3	4.6	17.1									
	安井	5	151	156	307	27	30	20	29	11	10	77	50	127	51.0	32.1	41.4	3	3	1	10	1		18		
	西院	4	463	432	895	35	36	26	14	6	4	97	24	121	21.0	5.6	13.5	9	9	3				21		
	山ノ内	4	196	204	400	33	42	32	28	7	11	107	46	153	54.6	22.5	38.3									
	梅津	4	262	268	530	18	32	30	16	10	6	80	32	112	30.5	11.9	21.1		2					2		
	梅津北	3	197	180	377	17	17	8				42		42	21.3		11.1	1	6	2				9		
	西京極	4	301	335	636	25	41	32	28	11	6	98	45	143	32.6	13.4	22.5									
	西京極西	5	122	142	264	8	11	9	7	3	3	28	13	41	23.0	9.2	15.5									
葛野	4	232	235	467	34	22	17	4	3		73	7	80	31.5	3.0	17.1	8	6	5				19			

支部	校 区	日数	対象児童数(人) 【28.5.1現在】			登 録 児 童 数(人)										登録率(%)			うち、学童クラブ児童登録数							
			1-3計	4-6計	全計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1-3計	4-6計	全計	1-3率	4-6率	全率	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		
西京東	川岡	3	251	255	506	20	57	32	10	6	2	109	18	127	43.4	7.1	25.1									
	川岡東	3	199	222	421	27	17	33	23	4	3	77	30	107	38.7	13.5	25.4	3	4	8				15		
	樫原	4	378	379	757	16	37	18	15	4	2	71	21	92	18.8	5.5	12.2									
	松尾	3	331	356	687	25	30	32	12	5	3	87	20	107	26.3	5.6	15.6									
	嵐山東	3	148	163	311	18	31	11	1		1	60	2	62	40.5	1.2	19.9	3	6	4				13		
	松陽	4	257	266	523	28	16	9	11	1	1	53	13	66	20.6	4.9	12.6									
	桂	3	149	171	320	16	15	24				55		55	36.9		17.2			2				2		
	桂徳	4	244	230	474	33	23	5	1	4	1	61	6	67	25.0	2.6	14.1	9	6	2	1			18		
	桂川	3	319	358	677	24	33	34	5	5	1	91	11	102	28.5	3.1	15.1	19	17	15	1	2		54		
	桂東	3	254	248	502	13	15	12	3		3	40	6	46	15.7	2.4	9.2									
西京西	大枝	3	160	174	334	19	24	15	16	10	2	58	28	86	36.3	16.1	25.7		5		3			8		
	桂坂	3	335	379	714	28	5	9	2	1	1	42	4	46	12.5	1.1	6.4									
	新林	3	191	197	388	22	30	18	13		1	70	14	84	36.6	7.1	21.6		8	3	1			12		
	境谷	3	101	121	222	11	8	5	3	3		24	6	30	23.8	5.0	13.5									
	竹の里	5	73	83	156	17	4	13	8	10	2	34	20	54	46.6	24.1	34.6	9	2	5		2		18		
	上里	4	147	130	277	15	11	10	5	2	1	36	8	44	24.5	6.2	15.9	2	2	5	1			10		
	福西	5	117	112	229	9	10	16	16	3	1	35	20	55	29.9	17.9	24.0		2	3				5		
	大原野	5	96	112	208	12	28	20	13	6	8	60	27	87	62.5	24.1	41.8	2	6					8		
	深草	3	344	356	700	18	36	35	32	24	3	89	59	148	25.9	16.6	21.1	2	7	7	2	3		21		
	稲荷	3	82	89	171	16	10	11	7	1		37	8	45	45.1	9.0	26.3			1				1		
伏見中	藤ノ森	5	270	299	569	17	13	10	9		2	40	11	51	14.8	3.7	9.0	6	2					8		
	藤城	4	209	231	440	13	19	27	16	7	7	59	30	89	28.2	13.0	20.2	4	12	14	1	2		33		
	砂川	3	237	238	475	9	16	7	1			32	1	33	13.5	0.4	6.9									
	竹田	3	177	184	361	4	13	12	2	4	9	29	15	44	16.4	8.2	12.2			1				1		
	桃山	3	248	256	504	21	38	38	17	13		97	30	127	39.1	11.7	25.2		12	13	2	1		28		
	桃山東	3	250	204	454	34	21	34	3	6		89	9	98	35.6	4.4	21.6	7	4	5	3			19		
	桃山南	3	164	167	331	12	17	25	5	13	3	54	21	75	32.9	12.6	22.7	8	1	6		1		16		
	醍醐	3	146	196	342	11	9	8	6		1	28	7	35	19.2	3.6	10.2									
	小栗栖	4	73	88	161	7	13	15	17	14	6	35	37	72	47.9	42.0	44.7									
	小栗栖宮山	3	122	123	245	15	17	23	15	20	9	55	44	99	45.1	35.8	40.4									
伏見東	池田	3	123	150	273	12	18	16	8	9	1	46	18	64	37.4	12.0	23.4	4	6	3				13		
	池田東	3	132	104	236	15	17	6	10			38	10	48	28.8	9.6	20.3	5	3					8		
	春日野	3	137	152	289	6	19	14	8	7	4	39	19	58	28.5	12.5	20.1									
	日野	3	297	305	602	14	41	23	28	5		78	33	111	26.3	10.8	18.4	4	8	3	2			17		
	石田	5	68	74	142		2	2	2	4	1	4	7	11	5.9	9.5	7.7									
	醍醐西	3	97	118	215	6	15	15	9	4		36	13	49	37.1	11.0	22.8	4	6	8	2			20		
	北醍醐	4	75	87	162	15	18	10	5	1		43	6	49	57.3	6.9	30.2	9	11	1	1			22		
	伏見板橋	4	279	245	524	36	34	27	29	9	10	97	48	145	34.8	19.6	27.7									
	伏見南浜	3	259	273	532	17	34	17	33	5	6	68	44	112	26.3	16.1	21.1				3			3		
	伏見住吉	4	195	243	438	17	19	11	18	5	2	47	25	72	24.1	10.3	16.4									
伏見西	下鳥羽	4	192	222	414	16	23	23	6	3	3	62	12	74	32.3	5.4	17.9		10					10		
	横大路	3	109	82	191	16	14	4	3	6	1	34	10	44	31.2	12.2	23.0	9	5	1				15		
	納所	3	140	161	301	17	22	19	18	8	4	58	30	88	41.4	18.6	29.2	14	11	7	2			34		
	向島	5	111	149	260	9	15	7	7	5		31	12	43	27.9	8.1	16.5		1	1				2		
	向島藤の木	4	100	88	188	5	15	9	6		2	29	8	37	29.0	9.1	19.7		3	3				6		
	向島南	5	177	223	400	15	37	34	27	26	6	86	59	145	48.6	26.5	36.3									
	向島二の丸	3	90	94	184	3	15	8	4	2	1	26	7	33	28.9	7.4	17.9									
	二の丸北	5	36	36	72	3	9		7			12	7	19	33.3	19.4	26.4									
	神川	5	375	373	748	35	43	38	30	19	6	116	55	171	30.9	14.7	22.9									
	久我の杜	5	369	362	731	26	31	34	17	6	2	91	25	116	24.7	6.9	15.9									
	羽東師	5	362	407	769	57	51	25	25	16	5	133	46	179	36.7	11.3	23.3									
	明親	4	183	164	347	7	13	15	9			35	9	44	19.1	5.5	12.7	2	1	4	1			8		
	美豆	3	160	167	327	17	13	12	13	7	1	42	21	63	26.3	12.6	19.3	1	6	1		1		9		
	合 計		30909	31181	62090	2946	3608	3045	1954	1074	574	9599	3602	13201	31.1	11.6	21.3	469	509	378	100	51	5	1512		

参考資料② 京都市教育委員会作成教材の紹介

教育委員会では、放課後まなび教室での子どもたちの取組を充実させることを目的として、オリジナルの教材を作成し、各放課後まなび教室に配布しています。これまでに作成した教材を紹介します。

◆平成23年度作成教材

・計算問題集

放課後まなび教室で利用できる学年別の算数問題プリントを黄色・緑・紺色のファイルに入れて配布。

ファイルの中の原本をコピーして、宿題等が終わった子どもたちが取り組める。



1-1		月 日	
1年	半元	たしざん(1) ①	なまこ
①	$2 + 1 =$	②	$1 + 6 =$
③	$2 + 7 =$	④	$5 + 1 =$
⑤	$4 + 4 =$	⑥	$4 + 5 =$
⑦	$2 + 3 =$	⑧	$5 + 5 =$
⑨	$3 + 7 =$	⑩	$6 + 3 =$
⑪	$3 + 5 =$	⑫	$1 + 9 =$
⑬	$3 + 2 =$	⑭	$8 + 1 =$
⑮	$4 + 1 =$	⑯	$5 + 4 =$
⑰	$5 + 2 =$	⑱	$7 + 2 =$
⑲	$1 + 8 =$	⑳	$4 + 3 =$

◆平成26年度作成物

・国語プリント

3種類の国語プリント(「早口ことばチャレンジカード」「日本のうた書き写し」「ことば集めチャレンジ」)を赤色のファイルに入れて配布。

計算問題集と同じく、ファイルの中の原本をコピーして、宿題等が終わった子どもたちが取り組める。



合格

★ 達成した人 () 年 () 月 () 日 ()

★ 達成した人 () 年 () 月 () 日 ()

★ 達成した人 () 年 () 月 () 日 ()

< 記入例1 >

た	た	た
て	け	け
か	が	が
け	き	き
た	に	に

(ステップ ①)

★ ステップ①は、早口ことばチャレンジカードの1枚目から5枚目までの早口ことばを、1分以内に読み上げる練習をする。

早口ことばチャレンジカード
() 年 () 月 () 日

言葉あそびチャレンジカード

★ ステップ②は、言葉あそびチャレンジカードの6枚目から10枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ③は、言葉あそびチャレンジカードの11枚目から15枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ④は、言葉あそびチャレンジカードの16枚目から20枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑤は、言葉あそびチャレンジカードの21枚目から25枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑥は、言葉あそびチャレンジカードの26枚目から30枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑦は、言葉あそびチャレンジカードの31枚目から35枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑧は、言葉あそびチャレンジカードの36枚目から40枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑨は、言葉あそびチャレンジカードの41枚目から45枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑩は、言葉あそびチャレンジカードの46枚目から50枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑪は、言葉あそびチャレンジカードの51枚目から55枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑫は、言葉あそびチャレンジカードの56枚目から60枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑬は、言葉あそびチャレンジカードの61枚目から65枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑭は、言葉あそびチャレンジカードの66枚目から70枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑮は、言葉あそびチャレンジカードの71枚目から75枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑯は、言葉あそびチャレンジカードの76枚目から80枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑰は、言葉あそびチャレンジカードの81枚目から85枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑱は、言葉あそびチャレンジカードの86枚目から90枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑲は、言葉あそびチャレンジカードの91枚目から95枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

★ ステップ⑳は、言葉あそびチャレンジカードの96枚目から100枚目までの言葉あそび問題を、1分以内に読み上げる練習をする。

◆平成27年度作成物

(1) 京ことばカード

1セットを配布。共通語と京ことばのセットでカルタ取りのように遊んだり、全部裏返して言葉合わせをして遊んだりして、京ことばに親しむことができる。

(2) 国語プリント

新たな国語プリント（「京ことばに親しもう」、「ことわざに親しもう」、「かたかなに親しもう」）を26年度に配布した「言葉の学習」のファイルに追加。



『京ことば』に親しもう ①

月 日 年

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
おぼんざい	はんなり	きばる	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな
おぼんざい	はんなり	きばる	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな
おぼんざい	はんなり	きばる	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな
おぼんざい	はんなり	きばる	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな
おぼんざい	はんなり	きばる	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな
おぼんざい	はんなり	きばる	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな
おぼんざい	はんなり	きばる	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな
おぼんざい	はんなり	きばる	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな
おぼんざい	はんなり	きばる	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな	かたかな

○ はい、いいえ、どちらでもよい。 ()

『ことわざ』に親しもう ②

井の中の蛙 ↓

笑う門には ↓

かわいい子には ↓

残りものには ↓

急がば ↓

名まえ

◆平成28年度作成物

(1) がんばりカード

データで配布。各まなび教室で大事にされている7項目と児童自身が目標にしたいもの3項目の合計10項目を完成し、放課後まなび教室の取組の中で児童がチェックし、スタッフが進捗を確認できる。

(2) 干支のポイントカード

データで配布。児童がより達成感を持って取り組めるよう「がんばりカード」のチェックを基にして、シールを貼ったり色を塗ったりする。また、干支の資料を活用して他の学習にも発展させることができる。

NO. ()

〇〇小学校放課後まなび教室 名前 ()

『がんばりカード』

～ 気持ちと様子を覚えて、まなびあひましよう ～

順	項目	/	/	/	/	/
1	はきもの(くつ)をそろえる。					
2	あいさつをして敬語に入る。					
3	姿勢カードを出す。					
4	読書(カバン・学習するもの)の整理をする。					
5	ていねいな言葉づかいをする。					
6	予定した学習をやり返す。					
7	読んだものをかたづける。					
8						
9						
10						

これまでの〇の数

今日の〇の数

合計

干支のポイントカード

「がんばりカード」の〇が50個集まったらシールを一つはりましょう。

※ 各干支のポイントを覚えて、学習をしよう！

干支(十二支)の順番

子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

放課後まなび教室ニュース

平成 27 年 11 月号

No. 1

発刊にあたって

地域の皆様をはじめとする多くのボランティアの方々のご協力のもと、京都市立の全小中学校で実施されている「放課後まなび教室」。

同学年や他学年の友だちと自習や読書をしたり、楽しくカルタや折り紙をするなど、子どもたちにとっては、学習習慣を確立する学びの場に加え、地域の方々といふれあう貴重な体験の場となっています。

教育委員会では、今後継続的に、各校の創意工夫あふれる「放課後まなび教室」の様子をお伝えし、参考となる情報を提供していきます。

安井小学校放課後まなび教室

「スラックラインをやってみよう！」

安井小学校（右京区）の体育館で10月15日に「スラックラインをやってみよう！」を実施し、安井小学校放課後まなび教室に登録する児童と近隣の児童館に在籍する児童、合わせて39名が、「スラックライン」の世界チャンピオン 福田恭巳選手のパフォーマンスを見学したり、実際に「スラックライン」に挑戦したりしました。



このプログラムは、NPO団体「放課後NPOアフタースクール」が運営主催し、全国の「学童クラブ」や「放課後まなび教室」等を募集対象として、市民先生による出張授業、楽しく学べるプログラムを提供している「スミセイアフタースクールプロジェクト」に安井小学校放課後まなび教室が応募し、NPO団体、放課後まなび教室、児童館が連携することによって開催が実現しました。

「スラックライン」とは柱や木の間に通した幅5センチメートル程のベルト状のラインの上でアクロバティックな技を競うスポーツで、世界大会も開かれています。

福田選手は昨年のスラックライン世界チャンピオンで、オープニングのデモンストレーションを見学した児童は、福田選手が細いラインの上で開脚やバク宙などの技を華麗に決めるたびに大きな歓声を上げていました。

児童はその後、福田選手の手を借りながら、児童用に高さ20センチ程の場所に張られた長さ2メートル程のラインの上で、片足で20秒立ってみたり、歩いてみたりするなどの体験をしました。

バランスを取るのが難しいのか、最初の内はすぐに地面に足をついてしまう児童が多かったのですが、時間が経つにつれて20秒立ったままいられる児童も増え、プログラムの終わりにはラインの上で長い距離を歩ける児童も出てきました。児童はみんな真剣な表情でバランスをとり、長い時間立っていたときには満足そうな表情をして、新しいスポーツに触れられる機会を楽しんでいました。

編集後記

日々の皆様の実践は全市共通の財産です。多くの教室に取材に行きたいと思っています。また11月に実施されるテーマ別研修会の様子や感想など、多くの情報を共有していければと考えています。ご意見など気軽にお寄せください。

発行 京都市教育委員会生涯学習部放課後まなび教室担当

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下ル骨屋之町 549（元生祥小学校）TEL:254-5015 FAX:254-5020

「放課後まなび教室テーマ別研修会」

7テーマ
参加 329 名

昨年 11 月に、放課後まなび教室アドバイザー・サポーターを対象とした標記研修会を実施しました。

放課後まなび教室はそれぞれの地域の特色に合わせた運営をしていただいております。教室によって力を入れたい取組も違っていることだと思います。この研修会は、そんなまなび教室で日々子どもたちと接しておられるスタッフの皆様が関心のあるテーマを選択して参加できる研修会として、平成 24 年度から実施しています。

今年度も 7 つのテーマについて専門の講師をお招きし、放課後まなび教室の運営に活かせる内容の講演があり延べ 329 人のスタッフに受講していただきました。



今年度の新テーマ「放課後まなび教室作成の教材紹介～使い方や工夫を紹介します～」では、放課後まなび教室コーディネーターが作成した国語と算数のオリジナル教材のねらいや、具体的な活用方法をくわしく紹介しました。その後、参加者にも国語の教材「言葉あつめチャレンジ」の学習プリントにチャレンジしていただき、みなさん時間いっぱい真剣に取り組まれていました。子ども用の教材ではありますが、実際に試すことで、言葉の学習に取り組む子どもたちの気持ちが体感できたのではないかと思います。

また、参加者からは「国語教材の京の通り名のプリントを拡大して教室に掲示している」という教材の活用の工夫を紹介していただいたり、「せっかくの教材だが一律に取り組むことは難しいのでは」という質問には、講師から「それぞれの教室の実態にあわせて、無理のないように取組を進めてほしい」とアドバイスがありました。研修を受けて教材を活用し始めた教室もあるそうで、研修内容を実践していただけて大変ありがたいと感じています。

テーマ別研修会は 50 名程度の少人数で実施していることもあり、どの研修会でも参加者は熱心に講演を聞き、質問も活発にされていました。

今後も放課後まなび教室での活動のヒントにしていただける研修を実施してまいりますので、積極的にご参加ください。また、他のスタッフにも研修会の内容をお話しくださなど、幅広く放課後まなび教室の運営に役立てていただければと思います。

日程	H27 年度テーマ別研修会・テーマ	講 師	参加者
11/4	放課後まなび教室作成の教材紹介	放課後まなび教室コーディネーター 田原邦夫	81 名
11/10	表現の楽しさ、今も昔も	京都文教大学准教授 山本早苗	37 名
11/13	これから大事にしていきたい道徳教育	京都市道徳教育研究会会長(梅津小校長) 若松秀一	33 名
11/16	算数ってこんなに楽しいよ!	京都光華女子大学講師 河原聡子	36 名
11/17	支援を求めている子どもたち	総合育成支援課指導主事 石原廣保	56 名
11/25	子どもと読書	京都市図書館研究会会長(宇多野小校長) 柳田典子	43 名
11/27	子どもを取り巻く環境と課題	生徒指導課主任子ども支援専門官 小松晃子	43 名

このほか、参加者に記入いただいたアンケートの自由記述では、放課後まなび教室について、様々なご質問も頂戴しました。裏面で代表的な項目について Q & A 方式で掲載します。(裏面へつづく)

Q 他の放課後まなび教室では、どのような取組をされているのか、是非知りたい。

A 多くの教室では、児童は、宿題、自習プリント、読書等を中心に自主学習をしています。また、学習後は、児童それぞれが思い思いに、百人一首、カルタ、クイズ、折り紙などの活動や、将棋、オセロ、トランプ等の遊びを楽しむなど、短い時間ながらも、静かに学習してからグループで楽しく遊ぶといったメリハリのある活動をしているところも多くあります。

地域によって特色がありますが、共通しているのは、「どのような放課後まなび教室にしていけばいいのか？」ということのを常に念頭に置き、スタッフどうし、あるいは学校の教職員と真摯に話し合い、きめ細かな工夫を積み重ねていただいている点です。

本誌では、できる限り、そのような工夫を含めて全市の教室の様子を伝えていきたいと考えていますが、例えば近隣の小学校、同じ行政区の小学校など、実際に身近な所を見学して情報交換したりすることも大変有意義なことだと思います。



Q 運営に関して、他の教室でやっている、ちょっとした工夫があれば教えて欲しい。

A 教室の運営にあたっては、地域の特色に応じて、雰囲気づくり、扱う教材、児童への声かけ、スタッフ間・教職員との連携、保護者とのやりとりなど、様々な切り口で工夫されています。

児童に「おかえり」と言って家庭的な雰囲気を出したり、「今日の〇〇君は、低学年に優しく教えてあげていて頼もしかったですよ」等と児童の様子を担当に伝えたりすることも工夫の一つです。

教育委員会では、運営をサポートする17名の放課後まなび教室コーディネーターが、担当している学校を月に1～2回程度巡回していますので、気軽に声をかけてください。

支援の必要な子どもへの対応、活動の充実、保護者・学校との連携など、状況に応じた対応例については、教育委員会生涯学習（放課後まなび教室）のホームページに掲載しています。

＜他教室の ちょっとした工夫の例＞

- ・ 自学自習の習慣を確立するため、児童ははじめに今日の予定を記入してから課題に取り組み、終盤には予定に対してどこまでできたかを振り返りをして、スタッフのコメントをもらって帰るという「ルール」、「かたち」をつくっている。
- ・ 児童の学習意欲を高めるため、放課後まなび教室用に作成した自習プリント（問題編・解答編）を、あらかじめ人数分ファイルにとじて用意し、児童が1枚やりきるごとにシールをはってスタッフが励ましている。
- ・ 児童の個に応じた支援を行うため、スタッフ会議を定例化して児童の様子を学校（教職員）と共有したり、必要に応じて、運営や教材について教職員の助言を得るなど、学校との連携を図っている。 など



編集後記 本誌及びホームページ等で各教室のお取組や実践事例など、たくさんの情報を共有していきたいと思います。ご意見・ご感想など気軽にお寄せください。

発行 京都市教育委員会生涯学習部放課後まなび教室担当
〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下ル骨屋之町 549（元生祥小学校）
TEL:254-5015 FAX:254-5020

放課後まなび教室ニュース

平成28年4月27日 Vol. 3
発行 京都市教育委員会 生涯学習部
TEL 254-5015 FAX 254-5020

子どもたちの自学自習の習慣化、放課後の安心・安全な居場所としての役割を担ってきた「放課後まなび教室」。事業開始10年目を迎え、昼間留守家庭児童を対象とした「学童クラブ」を含む放課後事業の状況等について報告します。

地域の協力のもと全校で着実に推進！約1万2千人の児童が登録

「放課後まなび教室」は、平成19年度当初、小学校1～3年生を対象として、50校で開設されました。その後、実施校が順次拡大され、平成21年度から、対象学年を6年生まで拡大し、全ての小学校区で実施されています。

また、平成23年度から、校区内の総合支援学校に通う児童も対象にするとともに、平成24年度から、学校敷地内・隣接児童館における放課後まなび教室登録児童の児童館（自由来館機能）への直接利用の取組を開始しました。

平成27年度末現在、全児童の約2割を占める約1万2千人が登録し、多くの子どもたちが地域の方々に見守られて、放課後を楽しく過ごしています。

平成19年度

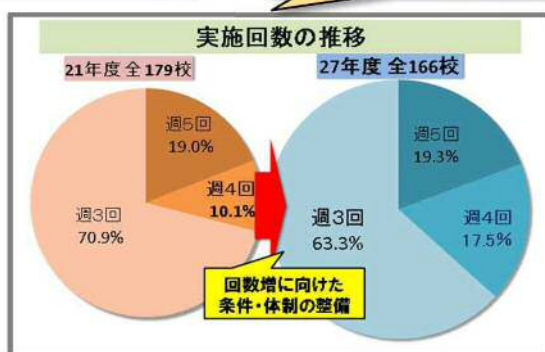
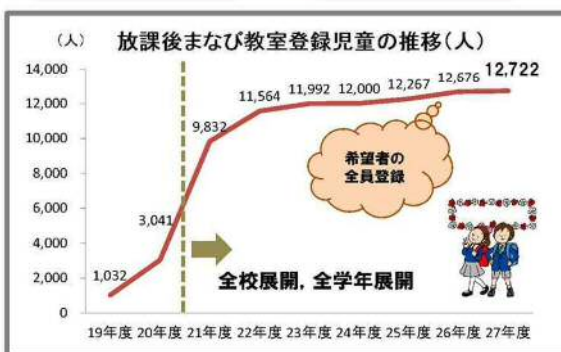
対象 小1～3年生
実施 50小学校
登録 1,032人
登録率 10.7%

平成27年度

対象 小1～6年生
実施 166小学校
登録 12,722人
登録率 20.4%



保護者ニーズの高まりと登録児童の増加に伴い、新たな実施場所の確保及び夏休み中の実施など、実施回数の拡大に取り組んでいただいています。



子育て支援としてのニーズが高まる「学童クラブ」と「放課後まなび教室」

放課後事業としては、他に昼間留守家庭児童に生活の場を提供する児童館等での「学童クラブ」があります。

平成27年度からその対象年齢が拡大されたことに伴い、放課後まなび教室と同様、登録者数も増加し、校区にある小学校の余裕教室等を活用して学童クラブが設置されるなど、子育て環境の整備が進んでいます。

また、昼間留守家庭の児童は「学童クラブ」、それ以外の児童は「放課後まなび教室」という二者択一ではなく、例えば、放課後まなび教室参加後に学童クラブに通ったり（両方の事業に登録）、学童クラブの季節行事等に放課後まなび教室の児童が参加するなど、それぞれの連携が着実に進んでいます。

学童クラブ登録児童数、待機児童数の推移（4月1日現在）



余裕教室等を活用した学童クラブ
26年度 15ヵ所 ⇒ 27年度 20ヵ所

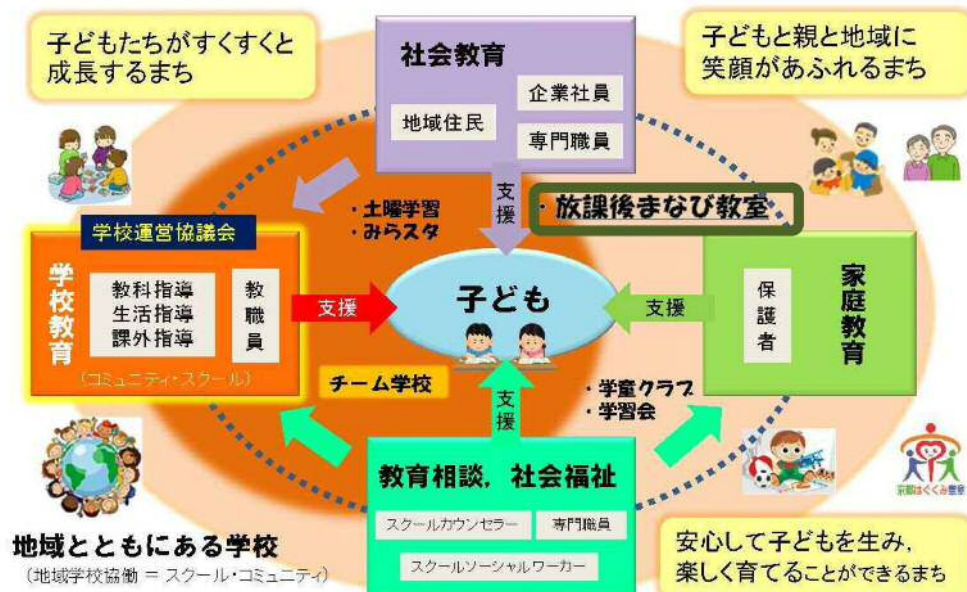
放課後まなび教室の登録者のうち、学童クラブに登録する者の割合（%）



「地域とともにある学校」と「放課後まなび教室」～子どもを真ん中にした支援の輪と目指すまち～

本市教育は、「学校運営協議会」等のしくみを活かし、多くのボランティアの方々の参画のもと、学校、家庭、地域が緊密に連携した取組を進めるとともに、児童・生徒の健全育成のため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門職員と一体となった支援を推進しています。

「チーム学校」「地域学校協働本部」等の新しい学校の姿や学校を核とした地域創生のあり方が国レベルで議論される中、放課後まなび教室は、「子育て支援」の視点に加え、学校教育・社会教育・家庭教育をつなぎ、子どもを真ん中にした支援の輪(下図参照)を通じて地域コミュニティの活性化を図る「地域とともにある学校」づくりの一翼を担うことが期待されています。



＜図＞
地域とともにある学校
と子どもを真ん中に
した支援の輪

＜参考＞
日本教育新聞(平成28
年1月25日)特集「大学
間連携による教員養成
の高度化支援システム
の構築」(通称HATOプ
ロジェクト)の研究報告
に掲載された教育支援
モデルを参考にして作
成。

今すぐ使えて児童とともに楽しめる教材「京ことばに親しもう」が完成！

「ボランティアでも簡単に取り組み、児童が興味をもって学べる便利な教材はないだろうか」というニーズに応えるため、これまで企画・作成してきた教材が完成しました(3月に各教室に配布)。「放課後まなび教室(ことばの学習)」「放課後まなび教室(計算問題集)」と合わせ、是非ご活用ください。



○配布物

- ・「京ことばに親しもう」プリント
- ・「京ことばカード」(白紙とケース付き)

※「京ことばカード」には京ことばの札と、共通語の札があり、京ことばと共通語は対になっています。

(例)「おこしやす」―「いらっしゃいませ」
「きばる」―「がんばる」
「ぶぶ」―「お茶」等

○学習の進め方

1. 「京ことばに親しもう」のプリントをする。
 2. 「京ことばカード」でゲームをする。
- ◆カルタとり
- ① 京ことばの札を広げる。
 - ② 共通語の札が読まれたら、対応する京ことばの札を取る。
(例:「いらっしゃいませ」と読まれたら「おこしやす」を取る。)

◆ことば合わせゲーム

- ① 京ことばの札と共通語の札を裏返して広げる。
- ② 対応する京ことばの札と共通語の札がそろったら取る。



「カルタとり」や「ことば合わせ
ゲーム」で遊ぶことで自然と
「京ことば」に親しめます。

(発行・本ニュースに関する問い合わせ先)
京都市教育委員会 生涯学習部 放課後まなび教室推進室
所在地: 中京区富小路六角下元生祥小学校内 TEL 254-5015



放課後まなび教室ニュース

平成 28 年 6 月号

No. 4

地域の皆様のご協力のもと、本市で放課後まなび教室事業を開始して 10 年目という節目を迎えました。

今年度も、6 月の全体研修会に加え、実行委員会やスタッフの皆様からいただいたご意見等をもとに、11 月頃にテーマ別研修会の実施を予定しています。詳細が決まり次第お知らせします。3 月に配布した教材「京ことばに親しもうカルタ」をはじめ、市教委作成の教材集もさらに充実させていきます。ご期待ください。

さて、今号は、平成 27 年度の取組から、各教室で実際に工夫されている点をピックアップしました。少しでも自校の取組の参考になれば幸いです。引き続き、よろしくお願いいたします。

「放課後まなび教室」のちょっとした工夫 ～27 年度の取組実践から～

活動、時間配分の工夫

「きばってます」。うちの教室では、こんなとこ。

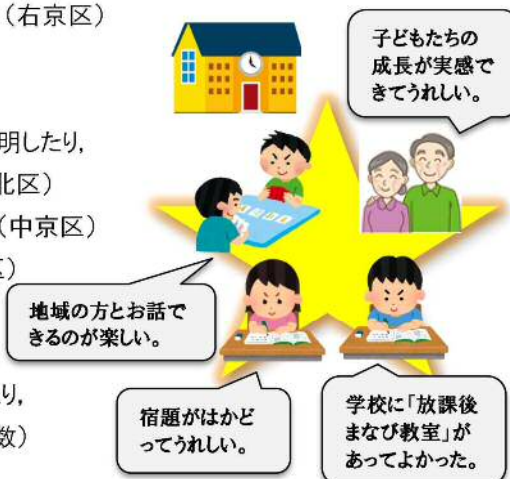
- 宿題を中心にしつつ、前半 15 分は地域の方に紙芝居や読み聞かせをしてもらい、終了 15 分前には将棋、百人一首、オセロ等をしてよいとするなど、活動にメリハリをつけている。(上京区)
- 1 日の中で三つの時間を用意し、①宿題をする時間、②スタッフが準備したプリントをする時間、③歴史カルタやチェスなどをする時間に区分。さらに②を頑張った児童には努力を認める賞状を発行している。(左京区)
- 児童の興味関心をもとに、時事問題や新聞のニュース記事を知らせて自主学習をするように働きかけたり、金曜日には習字をして礼儀や心構えを大切にしたい取組を進めている。(右京区)

情報発信、広報の工夫

- 保護者の理解を得るため、1 年生の懇談会でスタッフが趣旨を説明したり、PTA が放課後まなび教室を取材し広報誌に掲載したりしている。(北区)
- 放課後まなび教室のスタッフの顔写真を教室前に掲示している。(中京区)
- 毎月、放課後まなび教室ニュースを発行している。(上京・伏見区)

学校との連携方法の工夫

- 毎月スタッフ会議を開催し、配慮の必要な児童の状況を確認したり、教員からの助言を得たりして児童の様子の把握に努めている。(多数)
- 学校の教職員が参加児童に対して的確な声かけをしたり、頑張っている又は気になる児童の様子をスタッフが教員に伝えるなど、相互に連携を図っている。(多数)



学習意欲を高める工夫・教室環境の工夫

- 終了前に、毎回「ことわざ」を一つ選び児童に書写をさせている。その作品を定期的に図書館に掲示し児童を励ます工夫をしている。(西京区)
- カーペットを敷き、座卓、机をそろえ、くつろげる雰囲気にならしている。(山科区)

放課後まなび教室における「子どもへの対応方法」「教材の工夫」「保護者・学校・児童館との連携」の事例をまとめた「実践事例集」や広報紙「放課後まなびニュース」など、様々な情報を教育委員会ホームページに掲載しています。是非ご覧ください。(京都市教育委員会→生涯学習→地域ぐるみの教育→放課後まなび教室)

編集後記

日々の皆様の実践は全市共通の財産です。多くの教室に取材に行きたいと思っています。研修会の内容や教材など、多くの情報を共有していければと考えています。ご意見など気軽にお寄せください。

発行 京都市教育委員会 生涯学習部放課後まなび教室担当 TEL:254-5015
〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下ル骨屋之町 549(元生祥小学校内)



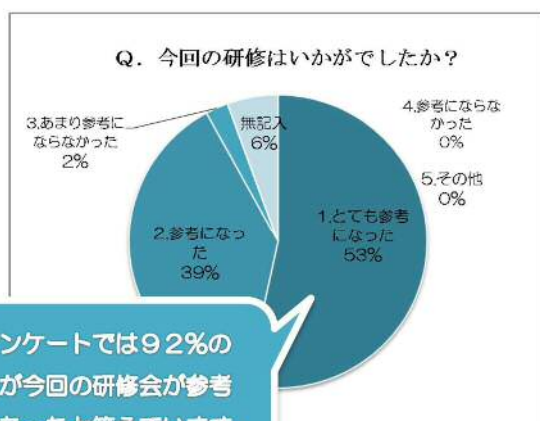
放課後まなび教室に関する情報をお届けする「放課後まなび教室ニュース」。今号は、6月に実施した全体研修会のことなどを主にお知らせいたします。

全体研修会を実施 (28.6.28)



6月28日京都市総合教育センターで、全体研修会として京都教育大学附属特別支援学校校長、特別支援教育臨床実践センター教授の相澤雅文先生を講師にお招きし、「『気になる』子どもの理解と対応」というテーマでご講演いただきました。(111校区から195名の放課後まなび教室のスタッフが受講)

講演では、相澤先生から、子どもの発達段階や『気になる』子どもへの指導方法などについて、具体的な例を挙げながら、時に参加者にマイクを向けてコミュニケーションをとりつつ、専門的な内容もわかりやすくお話していただきました。



アンケートでは92%の方が今回の研修会が参考になったと答えています。

参加されたスタッフの方からは、「子ども一人一人を見て、声をかける大切さがわかった。ほめるタイミング、具体的な声掛けは難しいが、心がけたい。」「今までの研修会などで学んでこなかった言葉、用語や考え方を知ることができた。困っている子どもへの対応方法を試行錯誤しながら努力していこうと思った。」「まなびに通う児童の顔を思い浮かべながら先生の話が聞けた。『気になる』は、子どもからの発信ととらえて、子どもと共に育つ場となるよう、これからまなびに取り組みたい。」といった感想がありました。



「がんばりカード」作成中！

児童がルールやマナーをしっかり身に付けて、実りある時間を過ごせるように、A4用紙に印刷して使用し、児童が自分でチェックできる「がんばりカード」を作成しています。

スタッフの皆様にも児童の目標達成の様子を見ながら声掛けや励ましをして、児童とのコミュニケーションのきっかけとしていただければ幸いです。

「がんばりカード」は9月上旬にデータで学校を通して送信予定です。

✿ テーマ別研修会 ✿

放課後まなび教室のスタッフへ向けたテーマ別研修会は11月1日(火)より実施いたします。9月末頃に学校を通して案内をお送りする予定ですので、ぜひご参加いただき、今後の放課後まなび教室の取組にいかしていただければと思います。

テーマ別研修会のテーマ

- ・国語・読書・児童心理
- ・手作り体験(新規)・算数
- ・実践交流(新規)

編集後記

本誌及びホームページ等で各教室のお取組や実践事例など、たくさんの情報を共有していきたいと思っています。ご意見・ご感想など気軽にお寄せください。

発行 京都市教育委員会生涯学習部放課後まなび教室担当

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下ル骨屋之町 549 (元生祥小学校)

TEL:254-5015 FAX:254-5020



放課後まなび教室に関する情報をお届けする「放課後まなび教室ニュース」。今号は、九条弘道小学校と伏見板橋小学校の放課後まなび教室の取組についてご紹介します。

九条弘道小学校放課後まなび教室

九条弘道小学校放課後まなび教室は週5日実施、1日の参加人数は平均20人程度、まなび教室専用の教室でテーマ学習やプリント学習を中心に活動しています。

工夫している点

- ・スタッフが先生となって得意な分野の指導を行うテーマ学習の時間があり、月曜日は英語、火曜日はそろばん、水曜日は手芸、木曜日は習字、金曜日は読書というように曜日によって異なるテーマで学習を行っている。
- ・テーマ学習の後でプリント学習を行い、丸付けまでスタッフがやっている。
- ・学習スペースとプレイスペースが教室の中で区切られており、学習が終わった子どもから場所を移動して遊んでいる。



地域の方に教わりながらそろばんに取り組む児童

現場の声

- ・スタッフの方からは「学習も遊びも集中してできるので、メリハリがあってよい。」「保護者の方からは、そろばんなどは触れる機会がないのでありがたいとか、数に強くなったなど好評です。」等のお話がありました。

伏見板橋小学校放課後まなび教室

伏見板橋小学校放課後まなび教室は週4日実施、夏季休業期間中も学校閉鎖日及び金・土・日以外は開室されています。1日の参加人数は平均30人程度。通常の自主学習などのほか、理科に親しむ取組も実施しています。



空き箱で工作した帽子でお店屋さんごっこ

工夫している点

- ・地域の様々な方（保護者・学校運営協議会の委員、PTA会員、小学校時代に放課後まなび教室を経験した大学生など）がスタッフとして参画・連携している。
- ・管理職や担任も放課後まなび教室の様子を見に来るなど、学校と放課後まなび教室が連携している。
- ・学習計画プリントを使って、子どもが自分で学習計画を立てて1日の学習に取り組んでいる。
- ・様々な空き箱や折り紙などの材料が用意されており、自主学習が終わった子ども達が自由に工作を楽しめるようになっている。

現場の声

- ・まなび教室の様子を見に来られた担任の先生からは、「まなび教室で、学習を習慣化してもらってありがたい。スタッフの方からよくまなび教室での子どもたちの様子を伝えてもらえるので、教室以外での学習の様子や、子どもたち同士の関係がよくわかり、感謝しています。」等のお話がありました。

京都市からのお知らせ

11月に京都賞ウィークがあります

11月10日に授賞式が実施され、関連行事が行われます。詳しくは、以下の稲盛財団ホームページをご覧ください。

<http://www.inamori-f.or.jp/>

編集後記

本誌及びホームページ等で各教室のお取組や実践事例など、たくさんの情報を共有していきたいと思います。ご意見・ご感想など気軽にお寄せください。



発行 京都市教育委員会生涯学習部放課後まなび教室担当

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下ル骨屋之町549（元生祥小学校）
TEL:254-5015 FAX:254-5020



放課後まなび教室に関する情報をお届けする「放課後まなび教室ニュース」。今回は文部科学大臣表彰を受けられた嵯峨小学校の取組、放課後まなび教室テーマ別研修会の様子等についてご紹介します。

文部科学大臣表彰



嵯峨小学校放課後まなび教室の取組が表彰されました

平成 28 年 1 月 28 日に「平成 28 年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰」の表彰式が文部科学省であり、本市からは洛央小学校学校運営協議会の取組と共に、嵯峨小学校放課後まなび教室の取組も表彰されました。



表彰された嵯峨小学校放課後まなび教室の取組

嵯峨小学校放課後まなび教室は、週 5 日、放課後まなび教室専用の 2 教室で宿題やプリント学習を中心に活動しています。

【工夫されている点】

- ・支援が必要な子どもには出来るようになるまで個別対応を行うなど、個々の児童に応じた丁寧な対応を心掛けている。
- ・自主的な学習習慣を身に付けられるように、学年ごとの学習用プリントを分かりやすい場所に多数用意したり、頑張ったことをシールで評価するカードを作成したりしている。
- ・放課後まなび教室のスタッフ会議に校長、教頭、教務主任の先生が参加されるなど、学校と連携して放課後まなび教室を運営している。
- ・学校と連携しながら、ノートの整理、字の書き方等の支援も行っている。
- ・校内及び隣接施設において実施されているゆうゆうクラブ（放課後児童健全育成事業）に参加する児童のため、黒板にゆうゆうクラブへ移動する時間を表示し、時間になったら声掛けをしている。



トピックス①

1 月 8 日に小栗栖小学校で、1 年生の開講式が行われました。1 年生の登録児童たちは、スタッフの方や校長先生の開講に当たってお話を静かにしっかり聞き、その後、早速宿題をしていました。

ちょうど小栗栖小学校の視察に来られていた 3 名の群馬県桐生市教育委員会の方が、開校式の様子を見学され、子どもたちが熱心に、かつ静かに学習している様子に、感銘を受けておられました。



トピックス②

1 月 9 日に祥豊小学校で、学童クラブとの合同行事が行われました。最初に絵本の読み聞かせが行われ、子どもたちは、時折笑い声をあげながら聴き入っていました。また、その後に行われたクリスマスツリー作りでは、スタッフや学童クラブの職員のみなさんに教えてもらいながら、楽しそうに取り組んでいました。



放課後まなび教室テーマ別研修会を実施しました

今年度も11月に放課後まなび教室のスタッフを対象とした「テーマ別研修会」を実施しました。放課後まなび教室の活動に関連する複数のテーマから、スタッフの方が興味のあるものを選択して参加できる研修会として、今年度は六つのテーマで実施し、延べ329人が受講されました。

今年度の新テーマ「手作り体験」と「実践交流会」では、テーマ別研修会では初めての試みとして、放課後まなび教室のスタッフの方に実践紹介・発表をしていただきました。その二つの研修会の様子についてご紹介します。

11/18 手作り体験

伏見板橋小学校、北醍醐小学校、竹の里小学校の放課後まなび教室のスタッフの方から、「偏光板で作るステンドグラス」、「玉結び（紙製のまり）」、「牛乳パックの編み機で作るマフラー」など、児童と一緒に作成できる工作の紹介がありました。

発表者の作り方の説明を聞き、参加者も用意された材料を使って実際に作成してみました。実際に教わりながら作ってみないと分からない、作成に当たっての細かいコツなどを発表者から直接聞くこともでき、参加者からは「自校の放課後まなび教室の取組に取り入れたい。」と好評でした。

その後、研修の参加者から、自校の放課後まなび教室で実際に子どもたちと作成したという声をいくつも聞きました。中には、「偏光板で作るステンドグラス」を、偏光板を張り合わせて袋状にし、中のプラスチック板を差し替えて色々な模様が見られるように工夫するなど、研修で教えてもらった取組を更に発展させている教室もありました。



11/28 実践交流会

松ヶ崎小学校、大原野小学校、安井小学校の放課後まなび教室のスタッフの方から、「入室から退室までの工夫」、「子どもたちが楽しく活動する工夫」、「長期休業中や長時間実施での活動の工夫」について実践発表があり、その後、参加者がいくつかのグループに分かれて、自校の放課後まなび教室の取組について交流しました。



グループ交流では、「出席カードがなかなか集まらない。」、「宿題が分からない子にどう指導したら良いだろうか。」など、色々な悩みも話題になりました。それに対して「申し込み時の保護者説明会で必ずカードを提出してもらえよう依頼している。」、「宿題の答えを教えるのではなく、一緒に調べたりしている。」と他の放課後まなび教室の活動の工夫について話があるなど、どのグループも1時間では足りないくらいに盛り上がり、有意義な交流会となりました。

研修会に参加していただいたスタッフの方が、その後の放課後まなび教室の運営で研修内容をいかしにいただいているというお話を、今回のテーマ別研修会では特にお聞きし、大変ありがたく思っています。

今後もスタッフの皆様の役に立つ内容の研修会を企画してまいりますので、ぜひご参加ください。

*ご意見をお寄せください。

発行 京都市教育委員会生涯学習部放課後まなび教室担当



〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下ル骨屋之町 549 (元生祥小学校)
TEL:254-5015 FAX:254-5020

テーマ	実施日	講師・発表者	参加人数
国語指導	11月1日	京都市総合教育センター研修主事 西澤 徹氏	25名
絵本の世界	11月9日	えほん館代表・京都嵯峨芸術大学非常勤講師 花田 睦子氏	40名
子どもの心	11月11日	京都女子大学教授・京都市立学校スクールカウンセラー 古池 若葉氏	89名
手作り体験	11月18日	伏見板橋小学校・北醍醐小学校・竹の里小学校各放課後まなび教室スタッフ	49名
算数指導	11月22日	京都光華女子大学准教授 河原 聡子氏	50名
実践交流会	11月28日	松ヶ崎小学校・大原野小学校・安井小学校各放課後まなび教室スタッフ	76名
合計			329名

「放課後まなび教室」学習サポーター募集！

本市では、放課後に学校施設を活用し、子どもたちの「自主的な学びの場」と、「安心・安全な居場所」を充実する取組として、「放課後まなび教室」をすべての小学校区で実施しています。

この事業は、地域の方々や保護者・学生の皆様に子どもたちの自主学習を支援するボランティアスタッフとして御参画いただき運営いただいているものです。

各教室の運営をより一層円滑に進めていくために、この「放課後まなび教室」の趣旨・内容を御理解いただき、「学習サポーター」として活動いただける方を募集しております。

放課後の子どもたちの居場所のより一層の充実のため、よろしくお願い申し上げます。

「放課後まなび教室」概要

<趣旨>子どもたちの「自主的な学びの場」、「安心・安全な居場所」の充実

<対象>原則として当該小学校に在学する1年生～6年生（登録制）

<費用>保険料は児童1人当たり年額800円（教材費等実費負担）

※スタッフの保険料は京都市で負担します。

<日時>週3～5日

月曜～金曜：授業終了から午後6時まで（最長）

長期休業中：各まなび教室により異なります。

※活動していただける日だけで結構です。

<開所日>土曜・日曜・祝日・学校閉鎖日・年末年始

<活動場所>小学校の余裕教室・図書室・特別教室等

<活動内容>○自主学習・読書（宿題や予習・復習等）

○文化的な活動（単発事業）

<運営>○各校区で、地域団体・保護者等により組織する「実行委員会」を設置し、地域・学生のスタッフの参画を得て運営

<コーディネーター>概ね10校毎に1名配置、放課後事業の総合調整

<スタッフ>○学習アドバイザー（1日当たり1名）：学習活動の支援、安全管理

募集スタッフ

○学習サポーター（学習アドバイザーの補佐/子どもたちの自学自習の支援）

時間 1回2～3時間程度 謝金 1時間当り700円

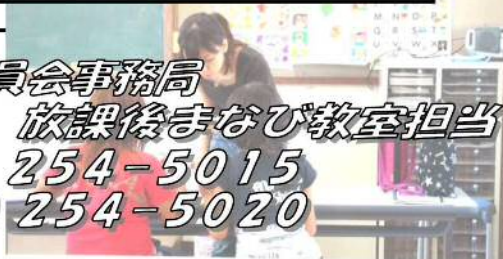
※特別な資格や経験は不要ですが、子どもたちの学習活動に理解のある方。

申込方法

申込票をFAXまたは郵送で送付してください。

（チラシ裏面が申込用紙となっております）

☆お問合せ先：京都市教育委員会事務局
生涯学習部 放課後まなび教室担当
TEL (075) 254-5015
FAX (075) 254-5020



このままFAXしてください
FAX: 075-254-5020

放課後まなび教室 学習サポーター登録申込票

平成 年 月 日

ふりがな		性別		生年 月 日	昭和 年 月 日 平成 (満 歳)
氏 名					
住 所	(〒 -)				
現在大学生又は院生の場合		大学(大学院)		学部(研究科) 年	
連絡先	自宅☎ () -	E-mail			
	携帯 - -	FAX		- -	
ボランティア等の経験	あり(内容:) なし				
活動可能曜日・時間	月(時 ~ 時) 火(時 ~ 時) 水(時 ~ 時) 木(時 ~ 時) 金(時 ~ 時) ※午後2時~6時の時間帯でご記入ください。				
活動希望地域	該当するものに○をしてください。 ※交通費相当額を一部補助の場合あり 1. 全市で可能 2. 地域限定 → 小学校名または区名 ()				
活動いただく場合の可能な移動手段該当するもの <u>全て</u> に○をしてください。 1. 公共交通機関 2. 自転車 3. バイク 4. 徒歩のみ					
京都市の他の事業で活動経験がある方は、該当するものに○をしてください。 1. 京都市立学校非常勤講師 2. まなび教育推進プラン非常勤講師 3. 京都市総合育成支援員 4. 京都市理科支援員 5. 京都教師塾 6. その他 ()					
応募動機・自己紹介(職業経験・趣味・特技・資格教員免許の有無等)・「放課後まなび教室」学習サポーターになってやってみたいことなどをご自由にお書きください。					

※この申込票に御記入いただいた個人情報、他の目的には一切利用いたしません。

※この募集は学習サポーターの登録をするためのものですので、応募された方すべてが活動していただけとは限りませんので、ご了承ください。

※申込票は、FAX又は郵送でご返送ください。

※お申込受付後、京都市教育委員会から追ってご連絡いたします。

※以下はアンケートです。差し支え無ければお答えください。(今後の募集方法の参考にします。)

放課後まなび教室学習サポーター募集について、どこでお知りになりましたか?

1. 京都市教育委員会のウェブページ 2. チラシ(配付場所:) 3. 市民しんぶん
4. 知り合いから聞いた 5. その他 ()

お問合せ・お申込先

京都市教育委員会事務局 生涯学習部 放課後まなび教室担当
〒604-8064 京都市中京区富小路六角下る骨屋之町549 (元生祥小学校内)
電話:(075)254-5015 FAX:(075)254-5020

京都市教育委員会生涯学習部
放課後まなび教室担当

放課後まなび教室のご案内

「放課後まなび教室」につきましては、地域・保護者等の皆様のご協力のもと、市内全小学校区で実施しているところですが、総合支援学校（小学部）に在籍されている児童につきましても裏面の受入条件により参加いただくこともできますのでご案内いたします。

放課後まなび教室とは…

学校施設を活用して、地域・保護者・学生等のみなさんの参画のもと、子どもたちの学習の習慣づけを図る「**自主的な学びの場**」と「**安心・安全な居場所**」を充実する取組です。

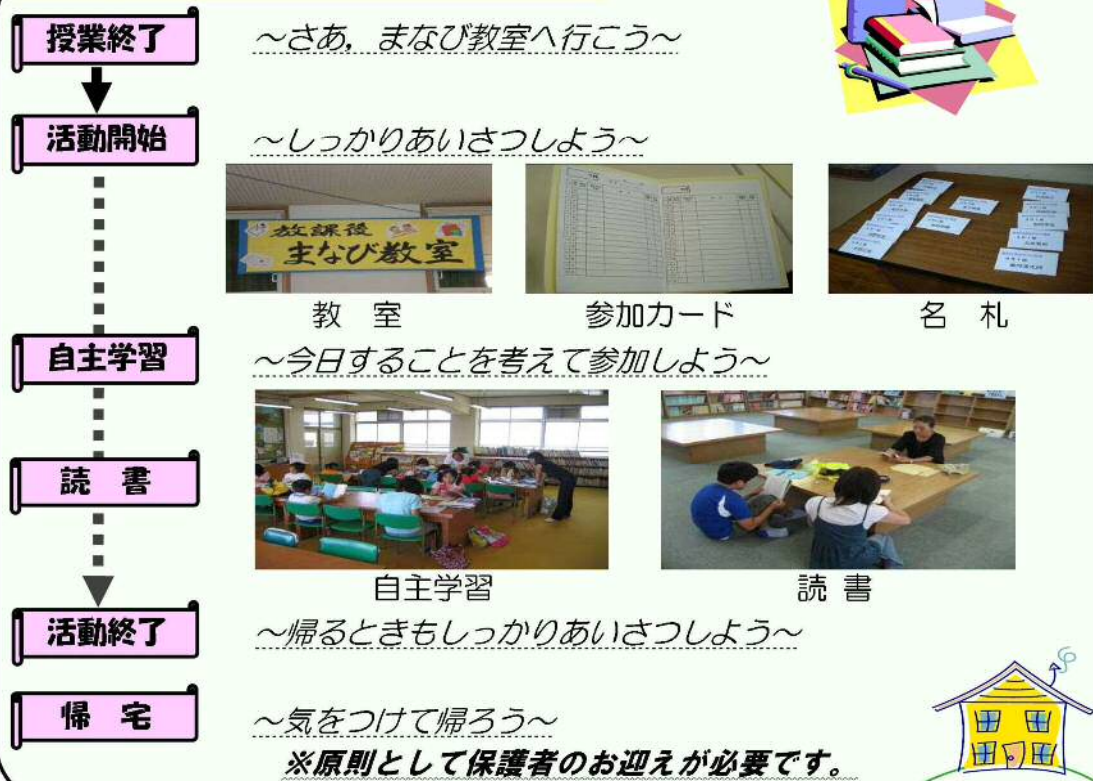
この事業は各小学校区単位で地域団体・PTA等が参画する「放課後まなび教室実行委員会」により運営されています。

昼間留守家庭の子どもたちを対象として、子どもたちの保護・育成を図る「生活の場」や「遊びの場」を中心とした取組である「**学童クラブ**」とは、趣旨や目的が異なる取組です。

取組内容

- | | |
|------------|---|
| 対 象 | <ul style="list-style-type: none"> ・その小学校に在籍する児童 ・当該小学校区内に居住する総合支援学校に在籍する児童 |
| 費 用 | <p>参加料は無料、保険料は1人当り年額800円</p> <p>※教材費等が必要となる場合は別途実費負担</p> |
| 日 時 | <p>月曜～金曜のうち、週3～5日（教室により異なります）</p> <p>授業のある日：授業終了後～概ね午後5時～5時30分</p> <p>長期休業中：教室により異なります</p> |
| 閉所日 | 土曜・日曜・祝日・学校閉鎖日・年末年始 |
| 場 所 | 各小学校の余裕教室・図書室・特別教室 等 |
| 活 動 | <p>○自主学習（宿題・予習・復習）や読書</p> <p>○文化的な活動（長期休業中等）</p> <p>※活動内容につきましては、児童の様子に合わせ当該小学校と総合支援学校間で個別に相談します。</p> |
| 運 営 | 実行委員会（小学校区単位で、地域団体・保護者等で構成）に委託し、地域・元教員・学生の方等の参画で運営 |
| 要 員 | <p>○コーディネーター（約10校ごとに1名、元校長）</p> <p>事業の総合的な調整・助言</p> <p>○学習アドバイザー（1日1名、地域・元教員の方等）</p> <p>教室の責任者、学習活動支援や安全管理</p> <p>○学習サポーター（1日数名、地域・学生の方等）</p> <p>学習アドバイザーの補佐、学習活動支援</p> |

まなび教室の一般的な活動例



総合支援学校（小学部）在籍児童の参加について

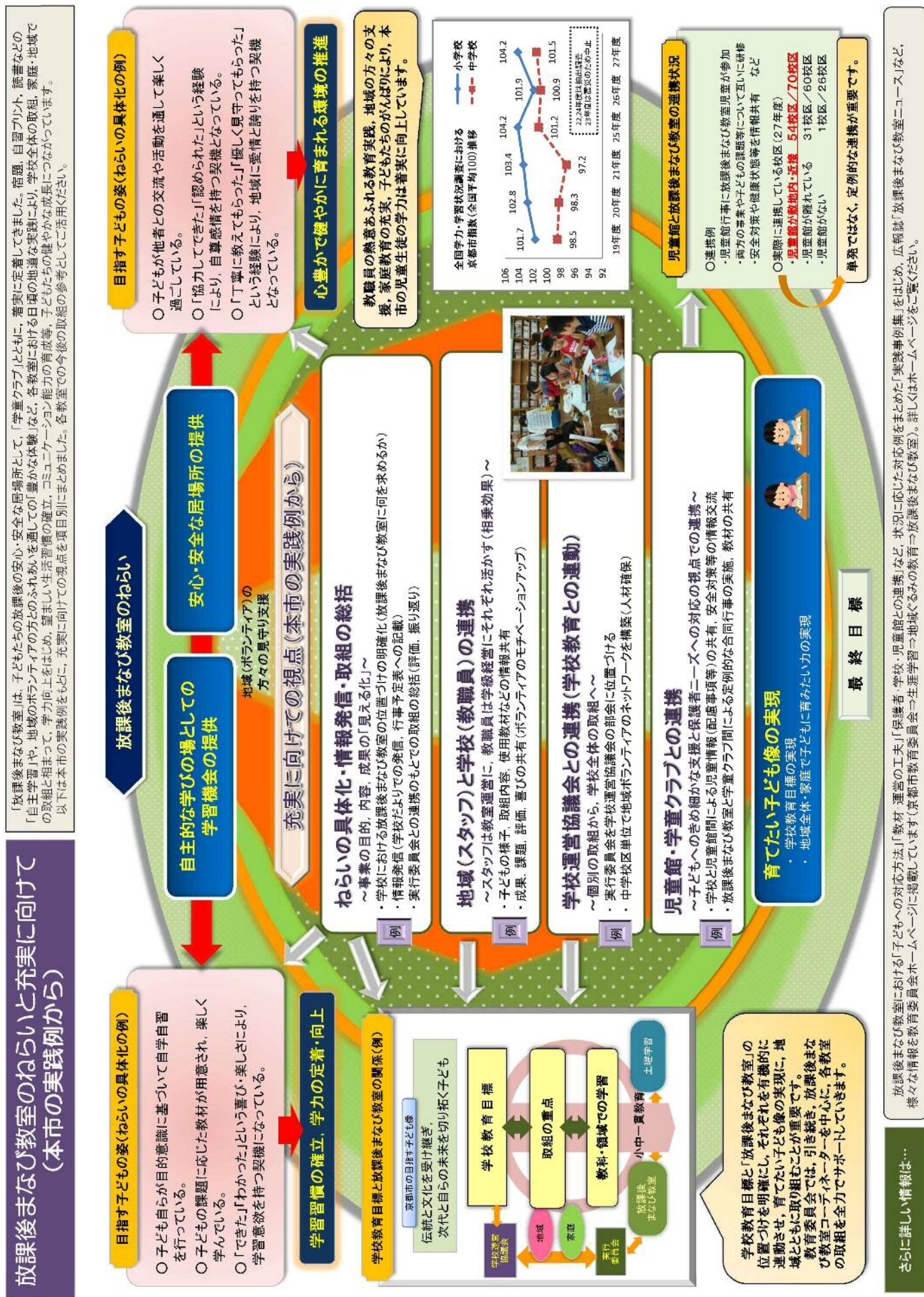
放課後まなび教室に参加いただくためには、趣旨や取組をご理解いただくとともに以下の３点をご了解いただいたうえで、在籍する総合支援学校、居住学区の小学校長及び放課後まなび教室実行委員会、教育委員会の了承が必要となります。

- 当該小学校区内に居住する児童であること（居住されている学区の放課後まなび教室が対象）。
- 児童の送り迎えが可能であること。
- 活動中のヘルパー（介助者）等を保護者の方で配置できること。

申し込みについて

まなび教室は希望登録制となっています。登録を希望される保護者の方は在籍する総合支援学校と相談いただいたうえで、居住学区の小学校長まで申し出てください。（登録の際、保険料として800円が必要です）

なお、年度初めの開始時期は各教室によって異なります。また、1年生につきましては、多くの教室で後期（10月頃）からの登録開始となりますのでご注意ください。



地域が見守り育む自主的な「まなび」

放課後まなび教室

実践事例集



発行 平成 29 年 3 月

編集 京都市教育委員会事務局 生涯学習部 放課後まなび教室担当

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町 549 元生祥小学校内

TEL (075) 254-5015 FAX (075) 254-5020

URL http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-17-3-0-0_19.html